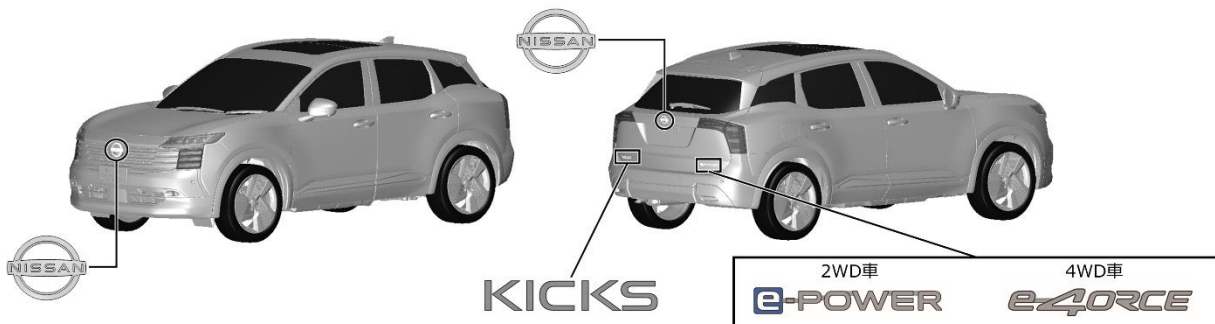




## 1. 識別／認識



エンジンが停止していても、必ずしも車両が OFF 状態であるとは限りません。車両が OFF 状態ではない場合、エンジンが再始動する可能性があるほか、高電圧システムの部品が作動しているおそれがあります。



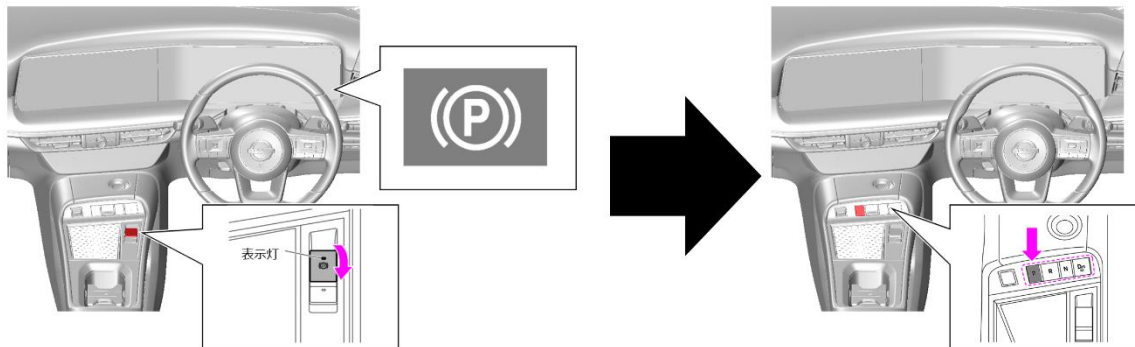
●動力源：リチウムイオンバッテリー



## 2. 車両の固定と安定

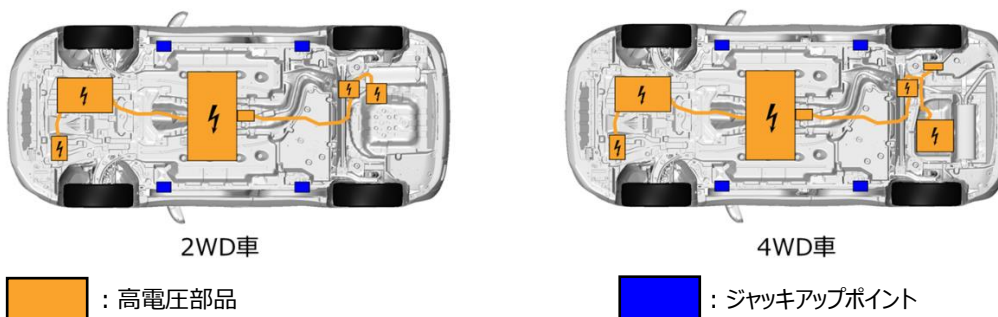
●車両の固定

輪止めで固定し、パーキングブレーキをかけ P ポジションに入れてください。



●車両の安定

車両を支持物に乗せる場合は、指示位置にかけてください。高電圧バッテリーや高電圧コネクタなどの高電圧部品には支持物を当てないでください。



■ : 高電圧部品

■ : ジャッキアップポイント

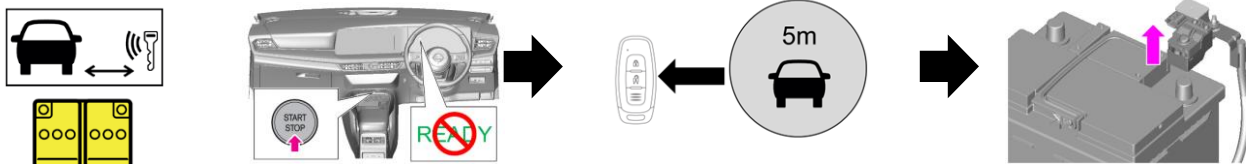


- ◆ 支持物は排気系・燃料系及び高電圧部品や高電圧ハーネスなどを避けて設置してください。
- ◆ 高電圧部品や高電圧ハーネスの内部が露出している場合は、その下に支持物及び救出用リフトエアバッグ装置を置かないでください。

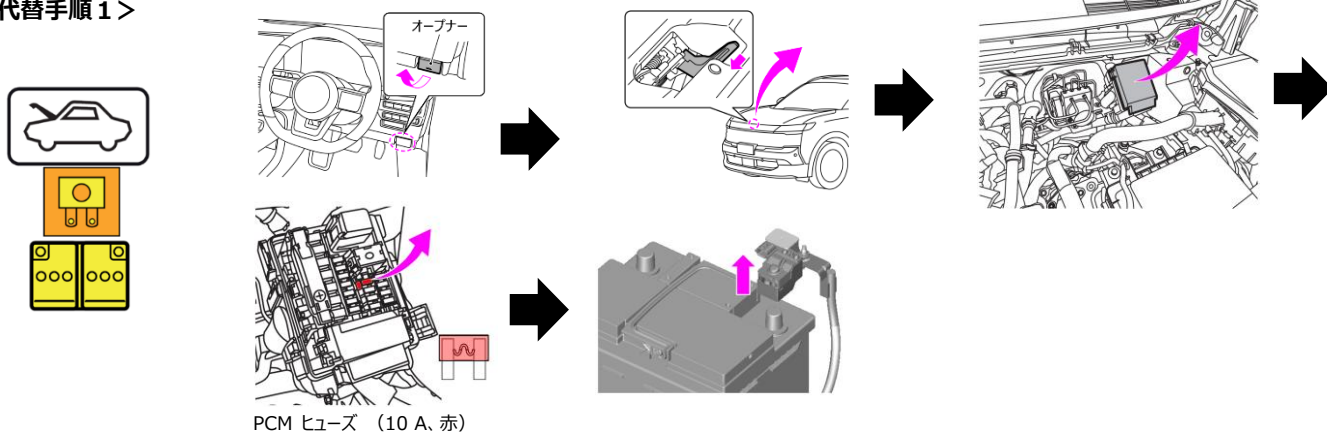
### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

- 12V バッテリーの接続を切り離すと、電動部品の操作が不可能になるため、12V バッテリー端子取り外し前に必要に応じて下記電動部品の操作を行ってください。
  - ・ドアロック ・パワーウィンドウ ・パワーシート ・バックドア ・電動パーキングブレーキ ・シフトスイッチ
- 以下の優先手順又は代替手順を実施して、高電圧システムを完全に停止させてください。

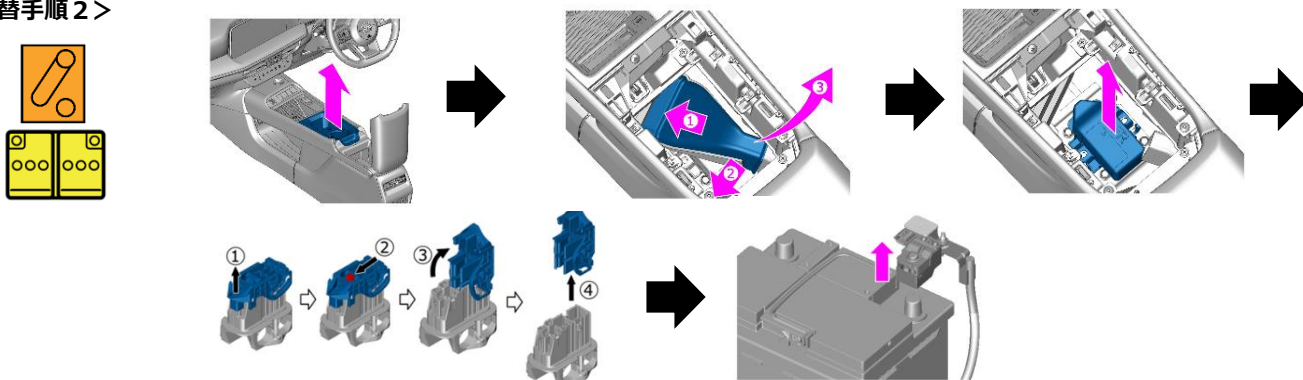
<優先手順>



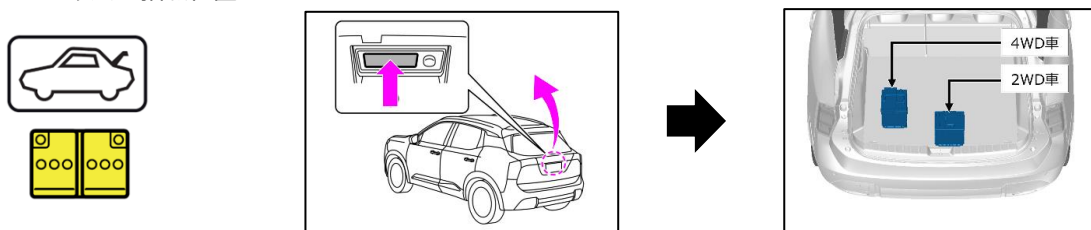
<代替手順 1>



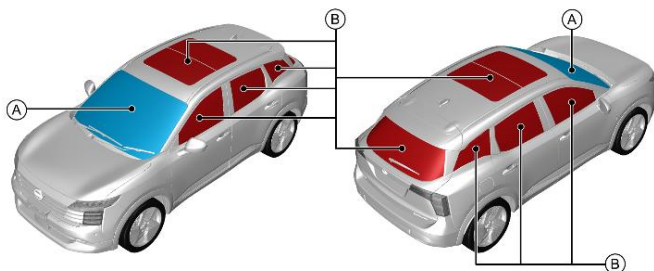
<代替手順 2>



- 12V バッテリー搭載位置



### 4. 乗員へのアクセス



A	合わせガラス
B	強化ガラス

## 5. 貯蔵エネルギー / 液体 / 気体 / 固体



高電圧バッテリー（リチウムイオン）：296 V



鉛バッテリー：12 V



ガソリンタンク：約 45 L



HFO-1234yf：約 375 g



高電圧バッテリーのカバーは、火災時を含め、いかなる状況下でも絶対に破壊や取り外しを行わないでください。重度の火傷、感電、または感電死につながる可能性があります。

## 6. 車両火災時の対応



大量の水で消火を行ってください。

大量の水をかけることが難しい場合、高電圧バッテリーが燃え尽きるまで待つことを推奨します。



バッテリーの再点火に注意してください。



## 7. 車両水没時の対応



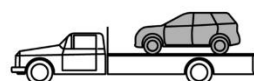
感電する危険性があるため、車両が水没しているときは、サービス・プラグを含む高電圧部品や高電圧ケーブルに触れないでください。

車両を水中より引き上げてから、作業を実施してください。



バッテリーの発熱/発火に注意してください。

## 8. 牽引 / 移動 / 保管



バッテリーの再点火に注意してください。

再点火のおそれがあるため、保管時は他の車両から安全な距離（15 m 以上）を確保してください。

## 9. 重要な追加情報

詳細は以下レスキュー時の取り扱いを参照ください。



# レスキュー時の取り扱い

2026

令和8年6月

# SERVICE

# 目次

0. レスキューシート .....	2
1. 識別／認識 .....	3
2. 車両の固定と安定 .....	10
3. 直接的な危険の無効化／安全規則 .....	12
4. 乗員へのアクセス .....	28
5. 貯蔵エネルギー / 液体 / 気体 / 固体 .....	38
6. 車両火災時の対応 .....	39
7. 車両水没時の対応 .....	40
8. 牽引 / 移動 / 保管 .....	41
9. 重要な追加情報 .....	50
10. 使用したピクトグラムの説明 .....	52

## 0. レスキューシート

- 本 ERG は、**2026 年 6 月以降**に発売された新型車を対象にしています。
- **2026 年 6 月以前**に発売された車両、および OEM 車両については、車両毎となる既存のレスキューマニュアルを参照してください。
- 各車両の詳細情報については、日産自動車公式サイト (<https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/SOCIAL/SAFETY/RESCUE/>) に掲載されている車両毎のレスキューシートを参照してください。

## 1. 識別／認識

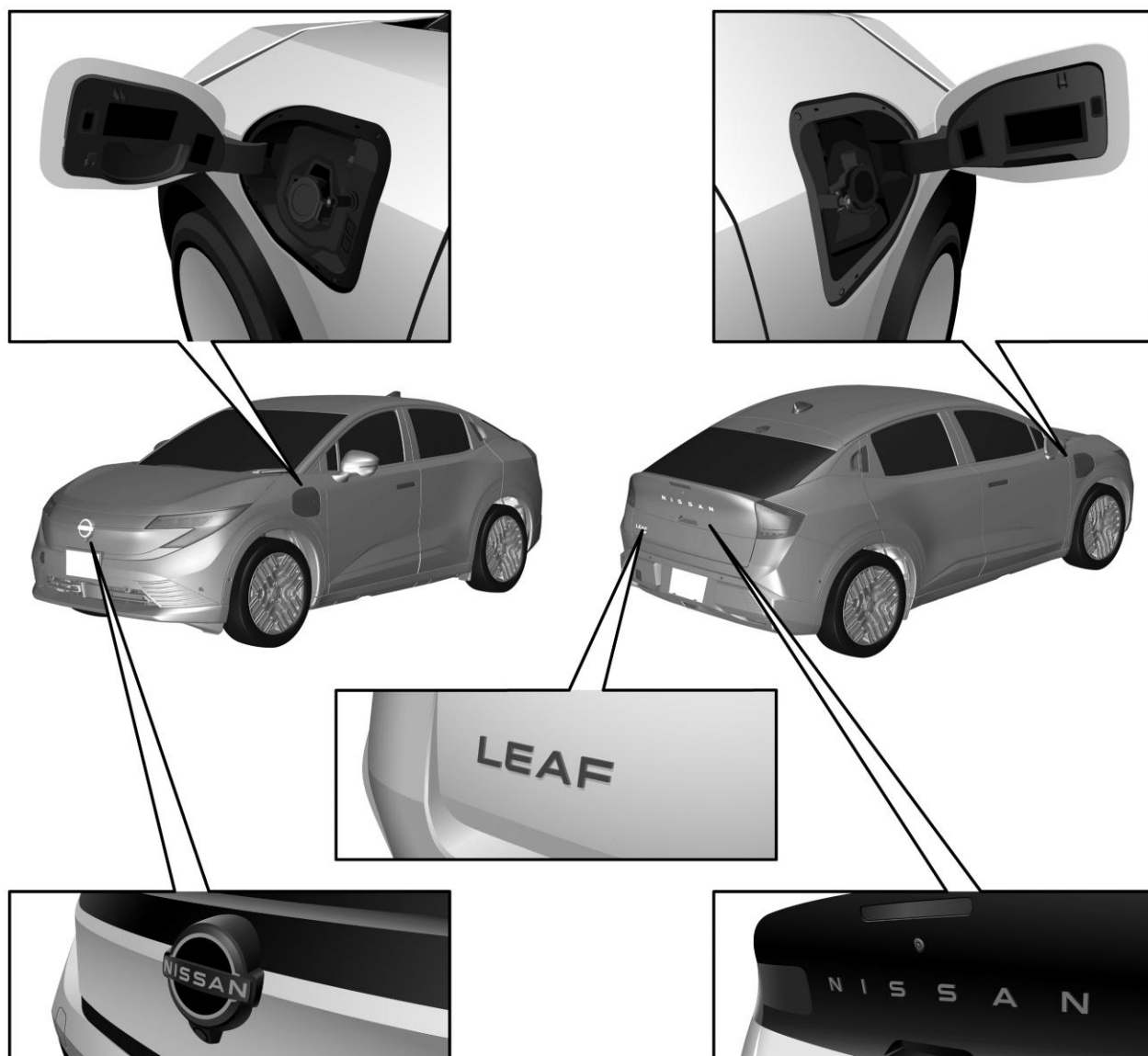
### 1-1. 車両の識別

#### 1. 外観およびロゴ

- 車両外観の特徴や車体のロゴマークや、エンブレムなどの情報をもとに車両の識別を行ってください。
- ロゴマークや、エンブレムには、ブランドや車名、グレードを示すものに加え、高電圧システムが搭載されていることを示しているものがあります。
- ロゴマークや、エンブレムは、フロントグリルやバックドア等に貼り付けられています。
- EV 車の場合、車両外部に充電ポートが装着されています。
- フロントフード内にもブランドなどを示すものがあります。また、オレンジ色の高電圧ケーブルが確認された場合は、高電圧システムが搭載されていることを示しています。



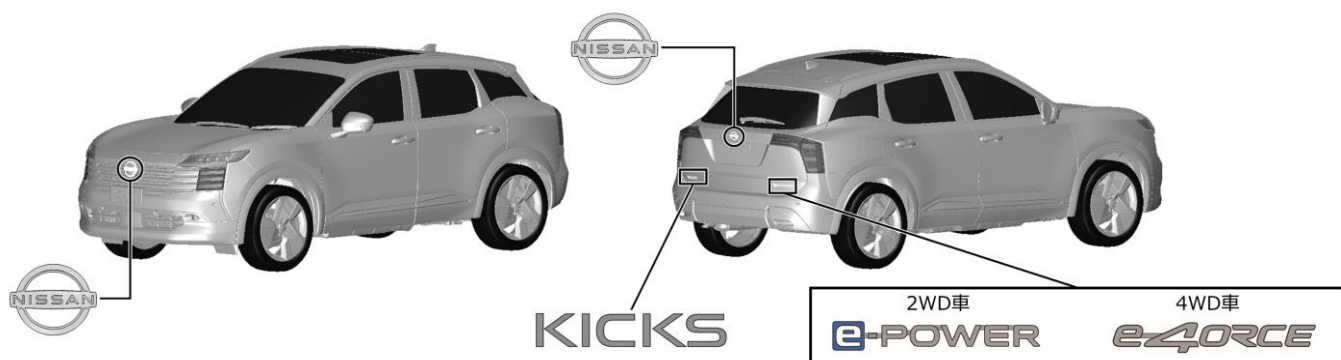
#### EV 車



# 1. 識別／認識



e-POWER 車



RES0790J

## 1. 識別／認識

### 2. 内装

- コンビネーションメーター内の走行可能表示灯が点灯している場合は、当該車両に高電圧システムが搭載されていて、高電圧システムが起動していることを示しています。
- 充電インジケータが点灯、及び点滅している場合は、当該車両が EV 車であり、高電圧システムが起動していることを示しています。
- EV 車の場合、走行可能表示灯が消灯していても充電インジケータが点灯、及び点滅中は、高電圧システムが起動しています。

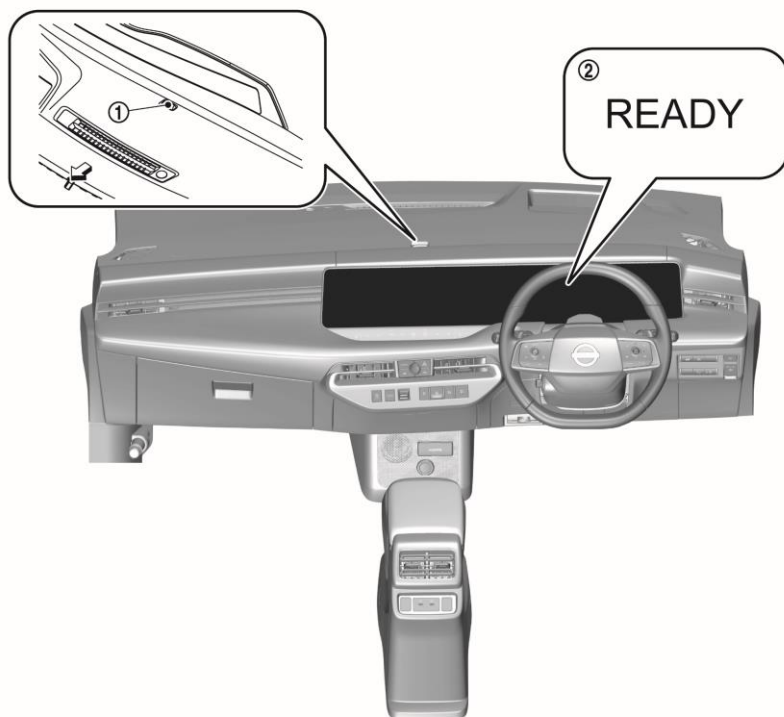


#### 注意：

車両の状況によっては、走行可能表示灯や充電インジケータが消灯していても高電圧システムが停止していない場合があります。高電圧システムを確実に停止する方法は「[3-2.安全に作業を行うための基礎知識](#)」、及び各車両のレスキューシートを参照してください。



EV 車



①：充電インジケータ

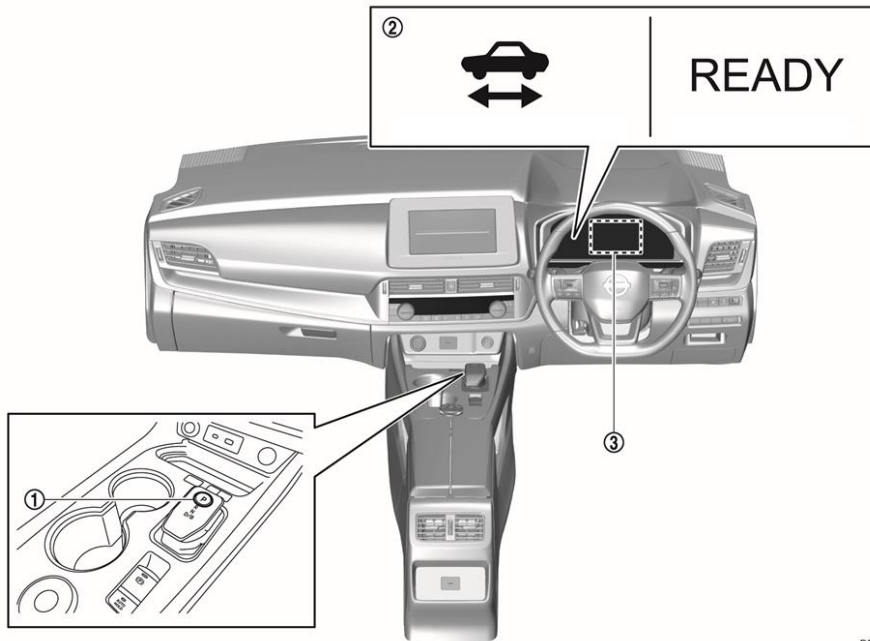
②：走行可能表示灯

RES0833J

# 1. 識別／認識



e-POWER 車



① : Pレンジスイッチ

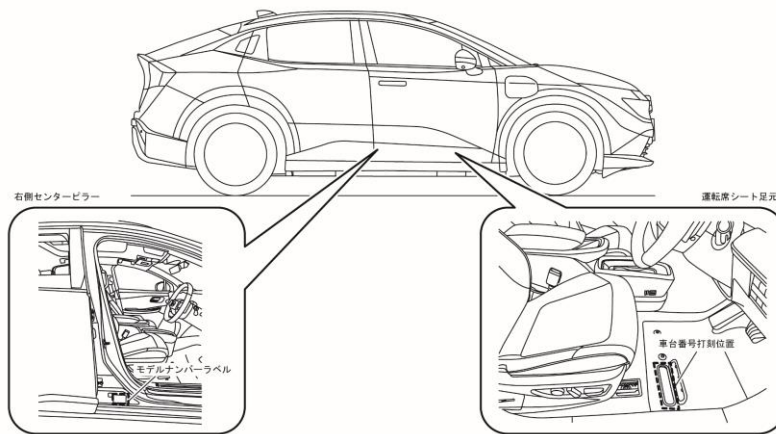
② : 走行可能表示灯

③ : アドバンスドドライブアシストディスプレイ

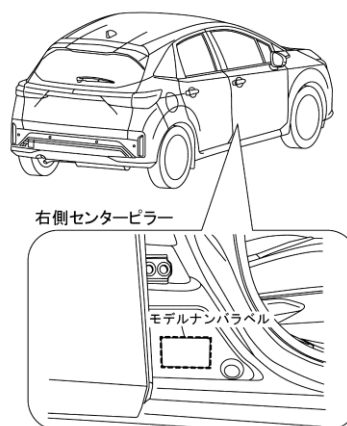
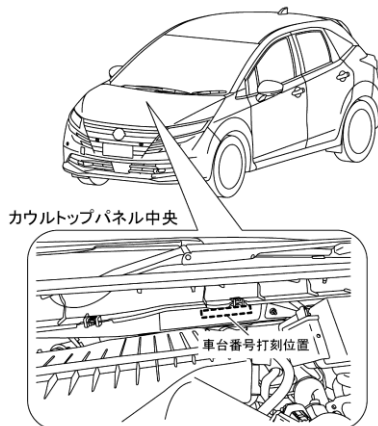
RES0791J

## 3. 車台番号

- 車台番号は、フロアパネルやカウルトップパネルなど、いずれかの位置に打刻されています。
- モデルナンバーラベルは、右側センターピラーに貼り付けられており、型式、及び車台番号が記されています。
- 車台番号の文字列で車種を識別することが可能です。



RES0834J



RES0739J

### 1-2. 高電圧システム

#### 1. 基礎知識

- EV 車、e-POWER 車は、駆動力としてモーターを使用しており、モーターを駆動するために約 300V ～ 400V の高電圧を使用しています。これらの車両には、様々な高電圧部品とそれらをつなぐ高電圧ケーブルが搭載されています。
- EV 車、e-POWER 車は、車両電装用の 12V バッテリーと、車両を動かすモーターに電力を供給するための高電圧バッテリーの二種類が搭載されています。  
また高度な運転支援システムを搭載している車両にはバックアップ機能用の 12V サブバッテリーが搭載されています。
- コンビネーションメーター内の走行可能表示灯が点灯している場合は、高電圧システムが起動していることを示しています。
- EV 車の場合、走行可能表示灯が消灯していても充電インジケータが点灯、及び点滅中は、高電圧システムが起動していることを示しています。



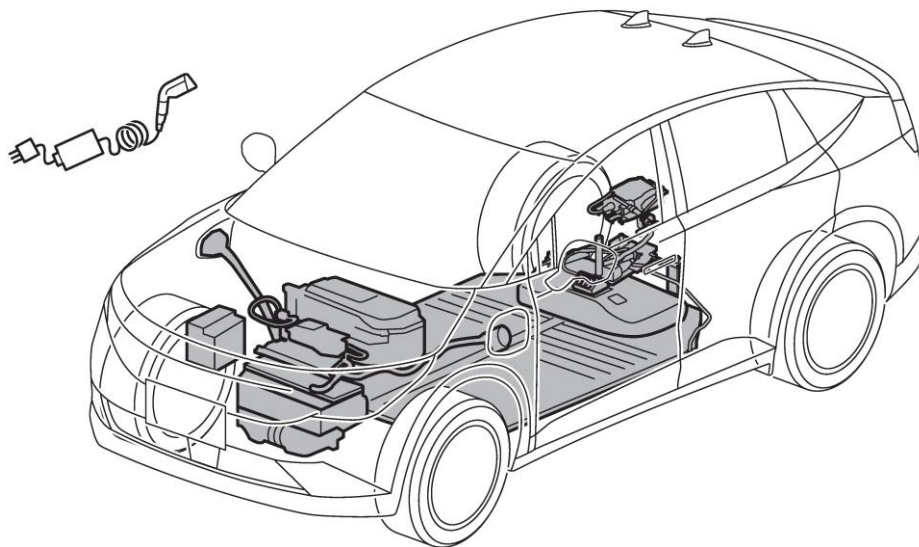
注意：

車両の状況によっては、走行可能表示灯や充電インジケータが消灯していても高電圧システムが停止していない場合があります。高電圧システムを確実に停止する方法は「[3-2.安全に作業を行うための基礎知識](#)」、及び各車両のレスキューシートを参照してください。



EV 車

- EV 車（電気自動車）は、車載の高電圧バッテリーに蓄えた電力でモーターを駆動して走行する車両です。
- エンジン、燃料タンク、および排気系部品を搭載せず、走行時に排出ガスを発生しません。
- 高電圧バッテリーは、回生発電や、充電ポートを経由しての外部電源から充電されます。  
イラストは代表車種になります。





## 1. 識別／認識

### 3. 高電圧回路の遮断

EV 車両、e-POWER 車両には、下記表のとおり高電圧回路を遮断するシステムを備えています。

パワースイッチ	車両の電源状態を切り替えるためのスイッチであり、READY ON 時に押されると高電圧回路を遮断します。(EV の場合は長押し)
ヒューズ	特定の電源系統のヒューズを取り外されることで、高電圧システムを遮断する。
ループハーネス*	緊急時、車両損傷によりパワースイッチが操作できない状況に備え、フード下 (モーター/エンジンルーム) にループハーネスを備えています。ループハーネスを切断することで、高電圧回路を遮断します。
サービス・プラグ	高電圧バッテリーの中間電圧の位置にあり、手動で高電圧バッテリーから引き抜くことで高電圧回路を遮断します。
システムメインリレー	高電圧バッテリーの両極に位置し、高電圧システムの遮断操作、及びオート ACC の ON/OFF により高電圧回路の接続/遮断を行います。また、衝突時 (エアバッグ展開時など) やシステムの故障時は、自動的に高電圧回路を遮断します。

\*: 採用車両のみ。採用の有無については各車両のレスキューシートを参照してください。

### 4. 感電防止等の注意事項

- 高電圧部品や高電圧ハーネスの破損部又は内部露出部分には触らないでください。やむを得ず触る場合は必ず適切な絶縁保護具を着用してください。
- レスキュー作業を実施する前に高電圧システムを停止し、高電圧回路を遮断してください。高電圧システムを確実に停止する方法は「3-2.安全に作業を行うための基礎知識」、及び各車両のレスキューシートを参照してください。
- 電圧回路遮断後も、高電圧バッテリー内部は高電圧を保持しているため、絶対に素手で触らないでください。
- 高電圧部品や高電圧ハーネスの破損した部位は、絶縁テープで絶縁処理してください。

## 2. 車両の固定と安定

### 2-1. レスキュー作業開始

#### 1. 準備品

高電圧システム搭載車のレスキュー作業時は、下表の準備品を用意してください。

準備品	仕様	用途
絶縁保護具 (絶縁手袋/ 耐電安全靴)	600V までの低圧作業用	作業者の感電事故防止
絶縁テープ	絶縁用	破損したハーネスの絶縁処理
絶縁シート	600V までの低圧作業用	露出した高電圧部品の絶縁処理
消火器	ABC 消火器 {電気火災(電気配線、電気機器などによる火災)及び、油火災(ガソリン、石油などによる火災)に有効なもの}	火災の初期消火及び、延焼防止
スパナ等	口径サイズ: 10mm	• サービス・プラグ抜き取り時のカバーの固定ボルトの取り外し • 12V バッテリーの端子取り外し
赤外線(IR)温度計または非接触温度計	500℃程度まで測定可能	高電圧バッテリーの温度確認
耐溶剤保護具 (保護ゴム手袋/ 保護メガネ)	耐溶剤性を有するもの	リチウムイオンバッテリー電解液が漏れている際の皮膚や目の保護
吸着マット、ウエス	エンジン車で使用するものと同用品	油脂類、リチウムイオンバッテリー電解液の吸着

### 2-2. 車両の固定と持ち上げ

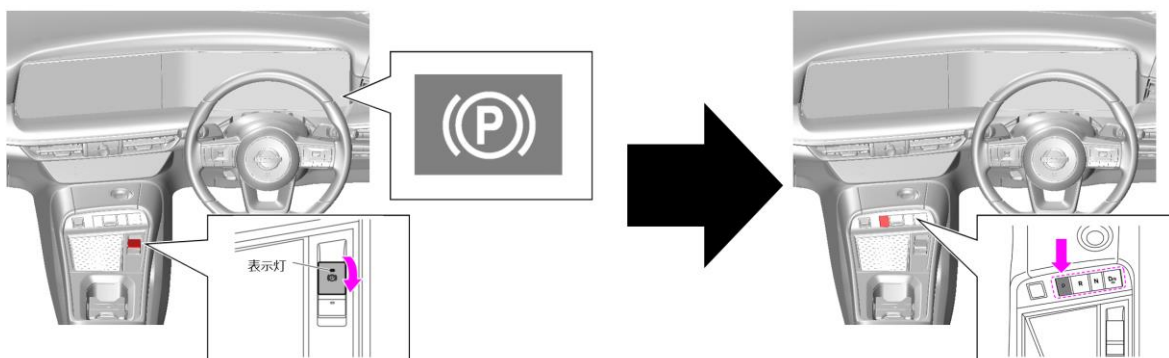
#### 1. 車両の固定

安全にレスキュー作業を行うため、救助現場に到着後、下記の手順を実施して確実に車両を固定してください。

1. パーキングブレーキをかけたとともにシフトポジションを P にしてください。

参考:

- パーキングブレーキやシフトの詳細な操作方法は、車両毎のレスキューシートを参照してください。
- イラストは代表例を示します。

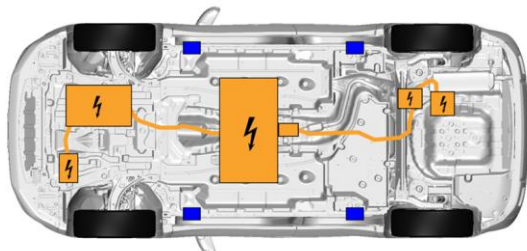


2. 輪止めで車両を固定してください。

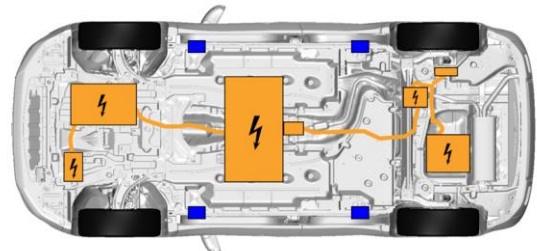
## 2. 車両の固定と安定

### 2. 車両の持ち上げと安定

安全にレスキュー作業を行うため、車両の下に支持物を置き、タイヤの空気を抜いて車両を安定させる、または救出用リフトエアバッグ装置を使用します。



2WD車



4WD車

■ : 高電圧バッテリー ■ : ジャッキアップポイント

参考：

- 車両の支持禁止位置の詳細情報は、各車両のレスキューシートを参照してください。
- イラストは代表例を示します。



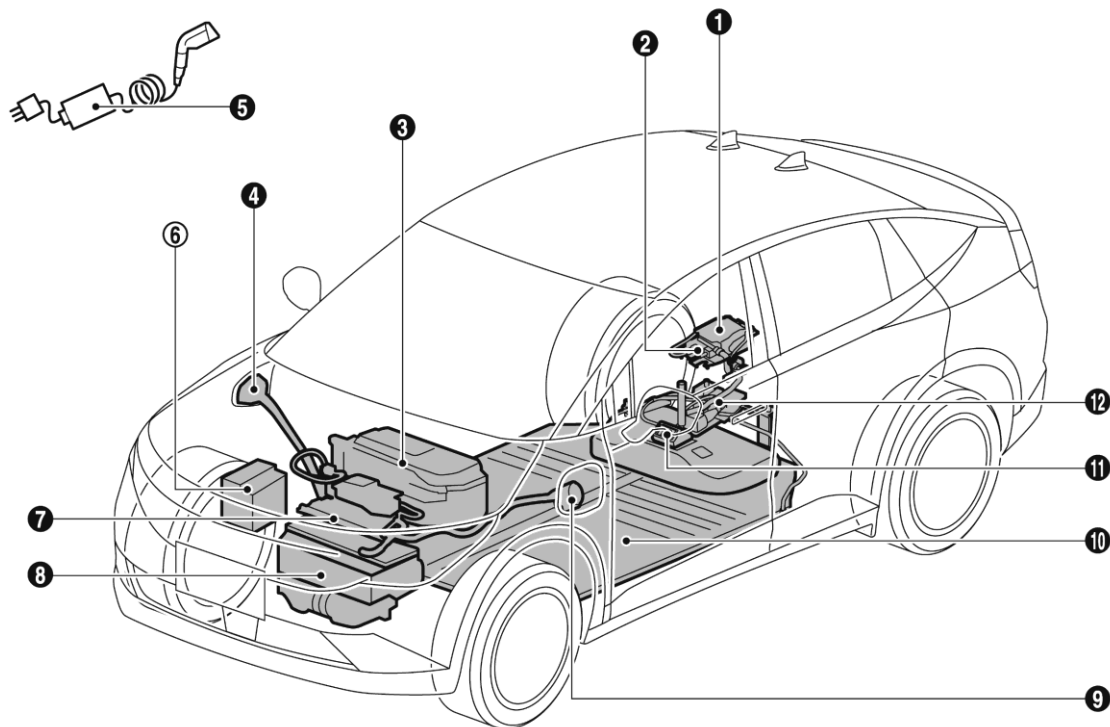
注意：

- 支持物は、高電圧バッテリーなどの高電圧部品、および高電圧ハーネスやコネクタを避けて設置してください。
- エンジン搭載車両の場合は、上記に加えて排気系・燃料系も避けて支持物を設置してください。
- 高電圧部品や高電圧ハーネスの内部が露出している場合は、その下に支持物及び救出用リフトエアバッグ装置を置かないでください。

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### 3-1. 主要な高電圧機器

##### 1. EV 車の高電圧システム関連部品



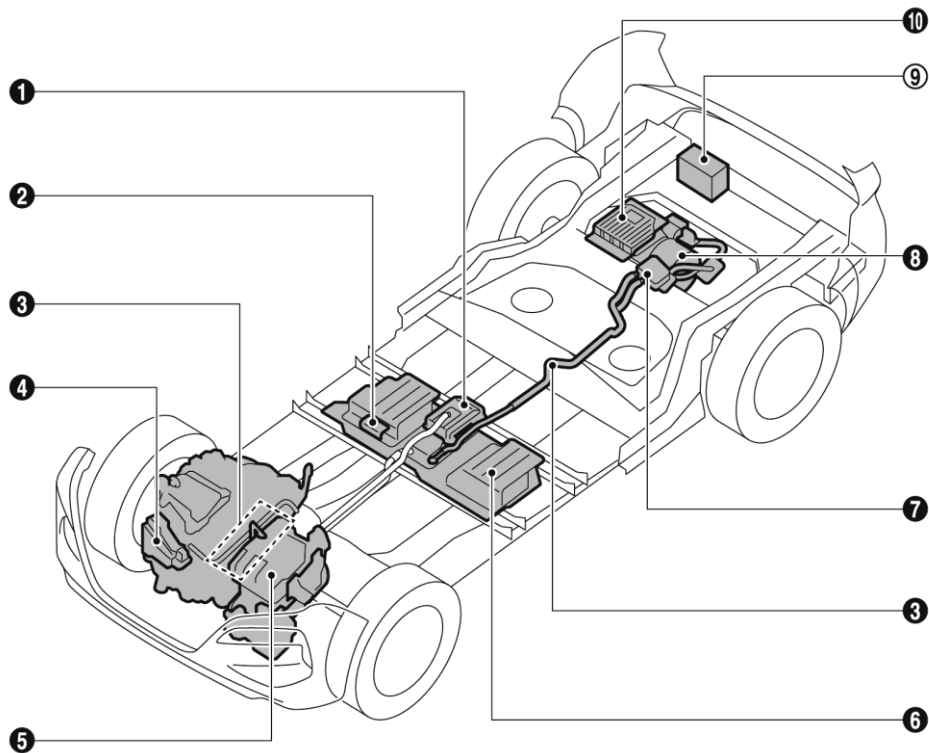
RES0835J

①	パワープラグジャンクションボックス	
②	パワープラグインバーター（1500W AC インバーター）	
③	PTCヒーター	
④	普通充電ポート	
⑤	充電ケーブル&充電コネクタ	
⑥	12V バッテリー	
⑦	高電圧供給ユニットアッセンブリー/ パワーデリバリーモジュール	車載充電器
		DC/DC コンバーター
		高電圧ジャンクションボックス
⑧	電動パワートレインアッセンブリー	インバーター
		駆動モーター
		減速機
⑨	急速充電ポート	
⑩	高電圧バッテリー	
⑪	サービス・プラグ	
⑫	PTC バッテリーヒーター	

\* 黒く塗りつぶされた数字が高電圧部品を示しています。

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### 2. e-POWER 車の高電圧システム関連部品



RES0634J

①	DC/DCコンバーター	
②	サービス・プラグ	
③	高電圧ハーネス（オレンジ色）	
④	電動コンプレッサー	
⑤	電動パワートレインアッセンブリー	インバーター
		発電モーター
		駆動モーター
⑥	高電圧バッテリー	
⑦	パワープラグジャンクションボックス	
⑧	4WD 車用インバーター	
	4WD 車用駆動モーター	
⑨	12V バッテリー	
⑩	パワープラグインバーター（1500W ACインバーター）	

\* 黒く塗りつぶされた数字が高電圧部品を示しています。

## 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

### 3. 各高電圧関連部品

高電圧システムに関連する部品についての詳細を以下で説明します。

#### • 高電圧バッテリー

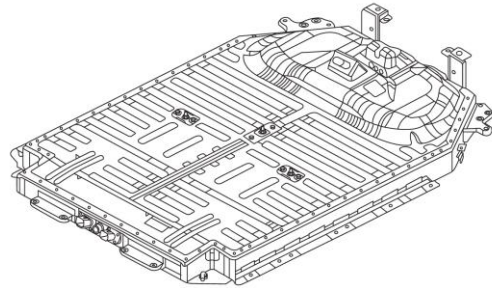
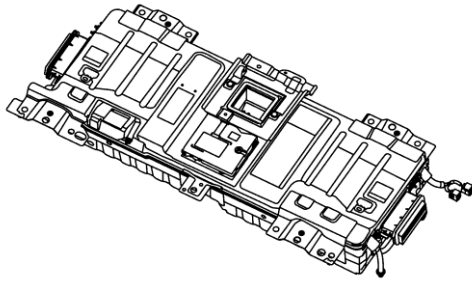


高電圧システムを持つ車両に搭載される蓄電装置です。

モーター駆動に必要な電力を蓄え、必要に応じて供給します。

充電方法は車両種類により異なり、回生発電、エンジンによる発電、または外部電源から充電されます。

高電圧バッテリーは、車両下部、フロア部分の低い位置に搭載されています。



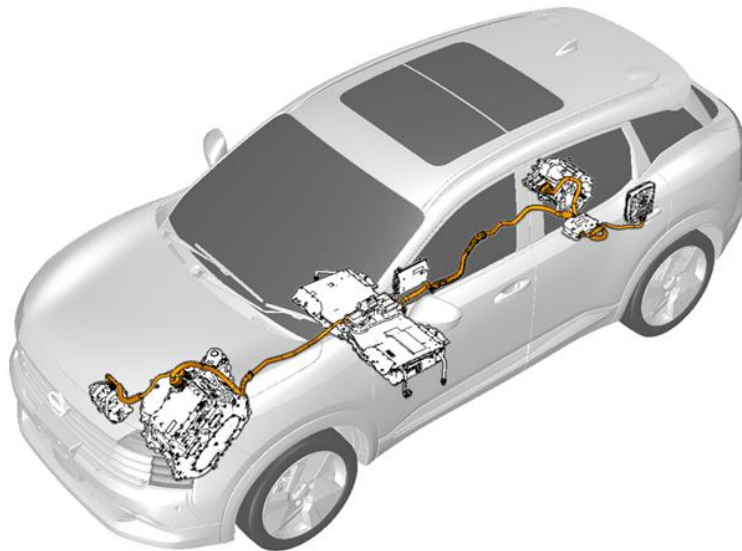
#### • 高電圧ハーネス



高電圧システムを持つ車両に搭載される高電圧回路用の配線です。

高電圧バッテリーから各高電圧部品へ電力を供給し、車両の走行や電動機能を支えます。

感電防止のため、一般的にオレンジ色の被覆で識別されています。



### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### ・フロント駆動モーター用インバーター



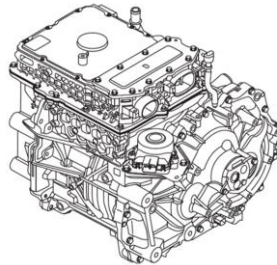
フロント駆動モーター用インバーターは、高電圧バッテリーに蓄えられた電力を制御し、フロント駆動モーターを作動させます。

高電圧バッテリーの直流電力を交流電力に変換し、走行状態に応じてモーター出力を制御します。

回生発電時には、モーターで発生した電力を高電圧バッテリーへ戻す制御を行います。

車種によりフロント駆動モーター用インバーター、駆動モーター、減速機を一体化したユニットが存在します。

フロント駆動モーター用インバーターは、モータールーム内に搭載されています。



#### ・リア駆動モーター用インバーター



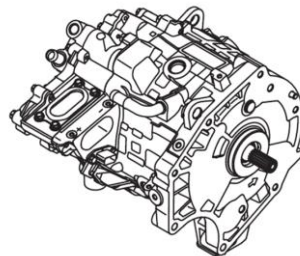
リア駆動モーター用インバーターは、高電圧バッテリーに蓄えられた電力を制御し、リア駆動モーターを作動させます。

高電圧バッテリーの直流電力を交流電力に変換し、走行状態に応じてモーター出力を制御します。

回生発電時には、モーターで発生した電力を高電圧バッテリーへ戻す制御を行います。

リア駆動モーター用インバーターとリア駆動モーターは一体化しています。

リア駆動モーター用インバーターは、リアフロア下に搭載されています。



### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### ・フロント駆動・発電モーター用インバーター



フロント駆動・発電モーター用インバーターは、高電圧バッテリーに蓄えられた電力を制御し、フロント駆動モーターを作動させます。

フロント駆動・発電モーター用インバーターは、発電モーターで発生した電力を制御し、高電圧バッテリーに供給します。

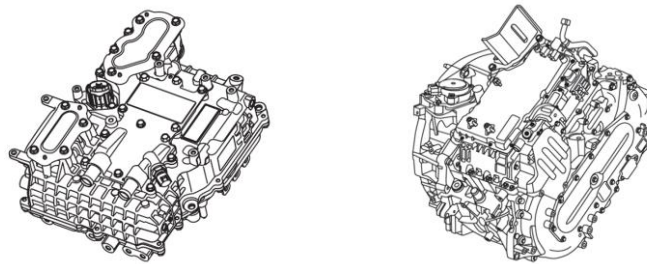
高電圧バッテリーの直流電力を交流電力に変換し、走行状態に応じてモーター出力を制御します。

発電モーターで発生した交流電力を直流電力に変換して高電圧バッテリーを充電します。

車両の走行、回生発電、およびエンジンによる発電電力の制御を担います。

車種によりフロント駆動・発電モーター用インバーター、駆動モーター、発電モーター、減速機、増速機を一体化したユニットが存在します。

フロント駆動・発電モーター用インバーターは、エンジンルーム内に搭載されています。



#### ・DC/DC コンバーター



DC/DC コンバーターは、高電圧電力を低電圧電力に変換する装置です。

高電圧バッテリーからの高電圧直流電圧を約 14V の直流電圧に降圧し、車両電装品へ電源供給するとともに、12V バッテリーへの充電を行います。

EV 車はモータールーム内、e-POWER 車は高電圧バッテリー付近（車両中央部）に搭載されています。



### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### • フロント駆動モーター/ リヤ駆動モーター

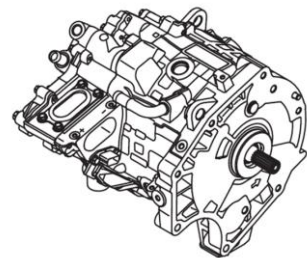
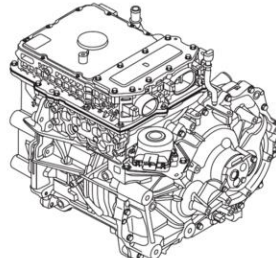
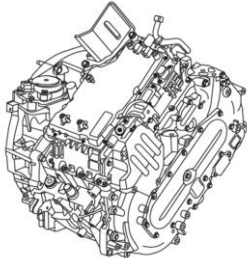


駆動モーターは、車両の走行に必要な駆動力を発生する高電圧部品です。

三相交流の電力を動力（回転力）に変換します。

減速時には回生発電を行い、発生した電力で高電圧バッテリーを充電します。

フロント駆動モーターはモーター/エンジンルーム内下部、リヤ駆動モーターはリヤフロア下に搭載されています。



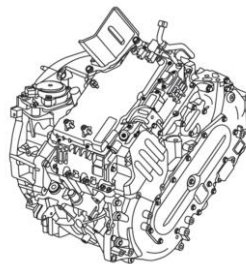
#### • 発電モーター



発電モーターは、エンジンの動力を利用して電力を発生させる高電圧部品です。

発生した電力は、高電圧バッテリーの充電や駆動モーターへの電力供給に用いられます。

発電モーターは、エンジンルーム内に搭載されています。



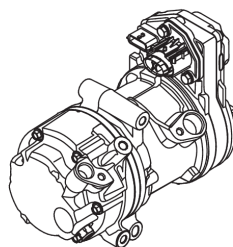
#### • 電動コンコンプレッサー



電動コンプレッサーは、空調用の高電圧部品です。

高電圧で作動する専用のモーターで、エアコンガスを高圧に圧縮します。

電動コンプレッサーはモーター/エンジンルーム内下部に搭載されています。

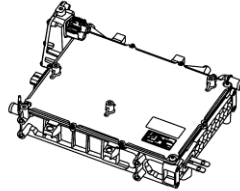


### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

- 車載充電器



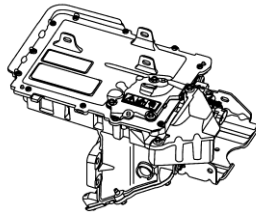
車載充電器は、外部電源からの電力を用いて高電圧バッテリーを充電するための装置です。  
外部電源からの交流電力を直流電力に変換し、電圧を上げ、高電圧バッテリーを充電します。  
車載充電器は、モータールーム内に搭載されています。



- 高電圧ジャンクションボックス



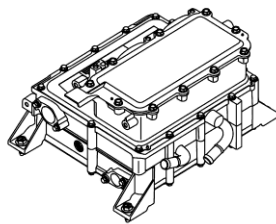
高電圧バッテリーからの高電圧電源を各部品に分配する。  
高電圧ジャンクションボックスは、モータールーム内に搭載されています。



- PDM (パワーデリバリーモジュール)



車載充電器、DC/DCコンバーター、高電圧ジャンクションボックスの機能が一体化したユニットです。  
PDM (パワーデリバリーモジュール) は、モータールーム内に搭載されています。



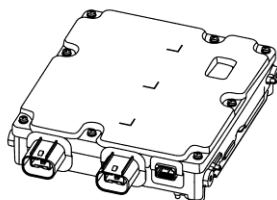
### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### • パワープラグインバーター(1500W AC インバーター)



高電圧バッテリーの直流電力を AC100V の交流電力に変換し、外部機器へ電力を供給します。

パワープラグインバーター(1500W AC インバーター) は、車両によって搭載位置が変わります。ラゲッジルーム付近、またはフロア下付近に搭載されている場合があります。

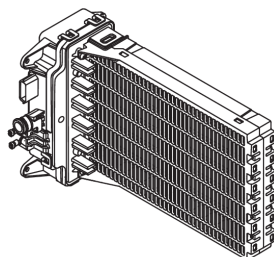


#### • PTC ヒーター



高電圧で作動する専用のヒーターで、空気を加熱し暖房を行います。PTC : (Positive Temperature Coefficient)

PTC ヒーターは、車両によって搭載位置が変わります。モータールーム内、またはエアコンユニットに内蔵されている場合があります。



#### • 充電ポート

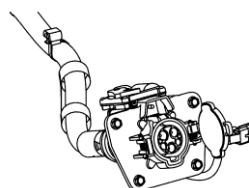
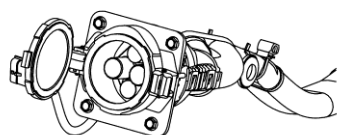


充電ポートは、外部電源から車両へ電力を供給するための接続部で、主に高電圧バッテリーの充電時に使用されます。普通充電用および急速充電用の二種類が存在します。

急速充電ポートは、外部の急速充電設備から高電圧バッテリーを短時間で充電するために使用されます。

普通充電ポートは、外部電源から供給された交流電力を車両に取り込み、車載充電器を介して高電圧バッテリーを充電します。

充電ポートは、車両によって搭載位置が変わります。車両前面、または車両側面に搭載されている場合があります。



### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

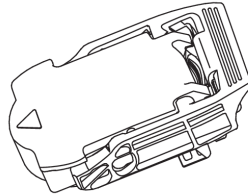
#### ・ サービス・プラグ



サービス・プラグは、高電圧回路を手動で遮断するための部品です。

整備時や緊急時に高電圧回路を遮断し、感電や意図しない作動などのリスクを低減し、安全を確保します。

サービス・プラグは、車両によって搭載位置が異なります。後部座席下、センターコンソール下、または前席下に搭載されている場合があります。



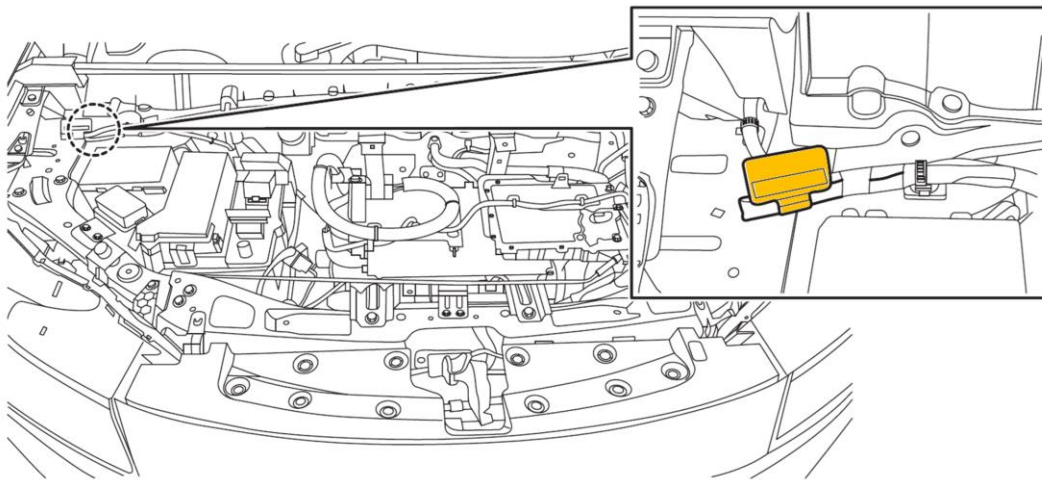
#### ・ ループハーネス



ループハーネスは、緊急時、車両損傷によりパワースイッチが操作できない状況に備えて設定されています。

切断することで高電圧が遮断された状態となります。

ループハーネスは、モータールーム内に搭載されています。





### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則


## 3-2. 安全に作業を行うための基礎知識

### 1. 作業前の注意事項

- 車両の損傷状況に応じて、高電圧システム遮断フローに従って高電圧システムを停止状態にし、高電圧を遮断してください。高電圧を遮断後、10分経過すればレスキュー作業が可能です。

	<p><b>危険：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• レスキュー作業を実施する前に高電圧システムが停止状態になっていないと、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至る可能性があります。</li><li>• やむを得ず高電圧部品や高電圧ハーネスの内部露出部分に触れる場合、または触れるおそれがある場合には、必ず適切な絶縁保護具の着用、及び絶縁テープで露出部を覆うなどの処置を行ってください。</li><li>• 損傷状態が不明な車両に接近する際は、必ず適切な絶縁保護具を着用してください。</li></ul>
	<p><b>警告：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 必ずメータ内の走行可能表示灯と充電インジケータ（EV車）が消灯していることを確認してください。走行可能表示灯、または充電インジケータ（EV車）が点灯している時は高電圧システムが起動状態です。走行可能表示灯、および充電インジケータ（EV車）については、<u>1-1.2「車両の識別ー内装」</u>を参照してください。</li><li>• 走行可能表示灯、または充電インジケータ（EV車）が両方とも消灯していても、オートACC機能中は高電圧システムが起動状態です。また、放電処理が完了しておらず、電圧が残る場合があります。</li><li>• 車両に充電ケーブルが接続されている場合は、充電コネクタを抜いてください。</li><li>• 高電圧回路は、高電圧システム遮断後、約10分は電圧が保持されています。残電荷のショートによるガソリンへの引火等の二次災害に十分注意の上、必要な保護具を着用してレスキュー作業にあってください。</li><li>• 高電圧システムを遮断し、12Vバッテリーのマイナス端子を取り外した後も、SRSエアバッグシステムは電圧を3分間保持しています。ハーネスのショート、又は衝撃によりSRSエアバッグが突然展開し、重大な傷害につながる可能性があります。</li></ul>

- 12Vバッテリーの接続を切り離すと電装関係の操作が不可能になることがあるため、12Vバッテリー端子取り外し前に必要に応じて、以下の機能に対する操作を行ってください。
  - ドアロック
  - パワーウィンドウ
  - パワーシート
  - バックドア
  - 電動パーキングブレーキ

	<p><b>注意：</b></p> <p>高電圧システムが起動している状態（走行可能表示灯、または充電インジケータが点灯している状態）で、12Vバッテリーのマイナス端子を外しても、DC/DCコンバータが作動しているため、12V系回路は遮断されません。また、高電圧システムも遮断されません。</p>
---	--

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### 2. 高電圧システムの遮断

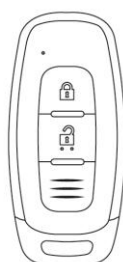
高電圧システムを遮断する方法は車両により下記的手段があります。高電圧を遮断後、10分経過すればレスキュー作業が可能です。下記の手段すべてが不可能な場合は、確実な高電圧の遮断が出来ません。適切な絶縁保護具を着用し、十分な絶縁対策をとったうえでレスキュー作業を実施してください。

##### 方法 A：パワースイッチを OFF にする



1. あらかじめ運転席ドアを開けておきます。開けることができない場合は、開閉可能なドアのいずれかを開けておきます。
2. インテリジェントキーが近くにある場合は、誤作動防止のため、必要とする作業の場合を除きインテリジェントキーを5メートル以上離します。

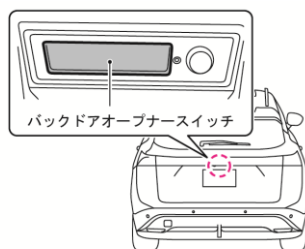
イラストは代表例を示します。



RES0636J

3. EV 車の場合、車両の充電ポートに充電コネクタ、または V2L（外部給電）機器などが接続されていないことを確認します。ダッシュボード上の充電インジケータが点灯・点滅している場合、高電圧システムは起動状態です。
4. 車両に充電コネクタ、または V2L（外部給電）機器が接続されている場合は、車両から取り外します。
5. 12V バッテリーがラゲッジルームに搭載されている車両は、あらかじめバックドアを開けておきます。

イラストは代表例を示します。



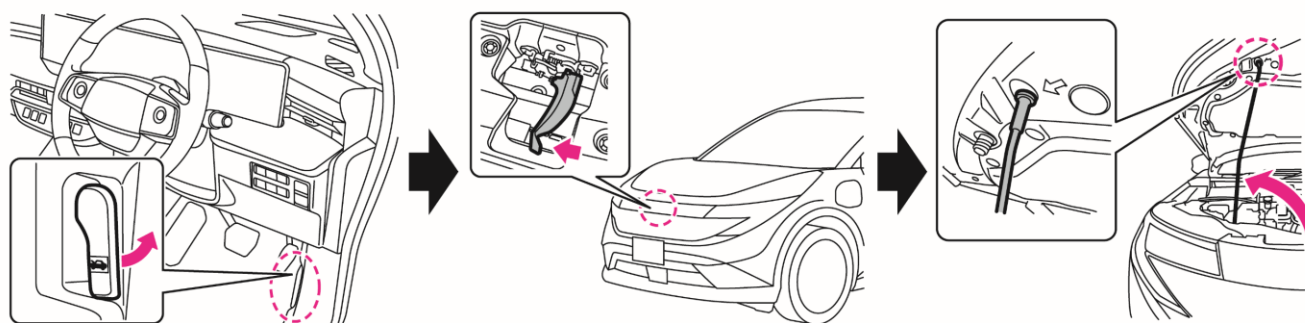
RES0465J

##### 参考：

バックドアのロック部分にテープ等を巻き、ロックしないようにしてください。

6. あらかじめモーター/エンジンルームのフードを開けておきます。

イラストは代表例を示します。



RES0837J

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

7. パワースイッチを 2 秒以上長押しして OFF にする。(高電圧システムを停止させる。)
8. メータ内の走行可能表示灯が消灯したことを確認する。走行可能表示灯が消灯しない場合、高電圧システムは起動状態です。

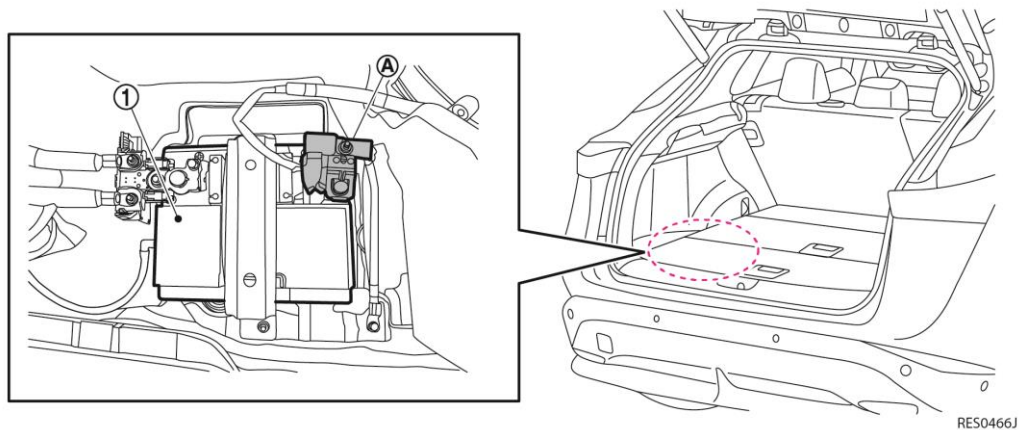
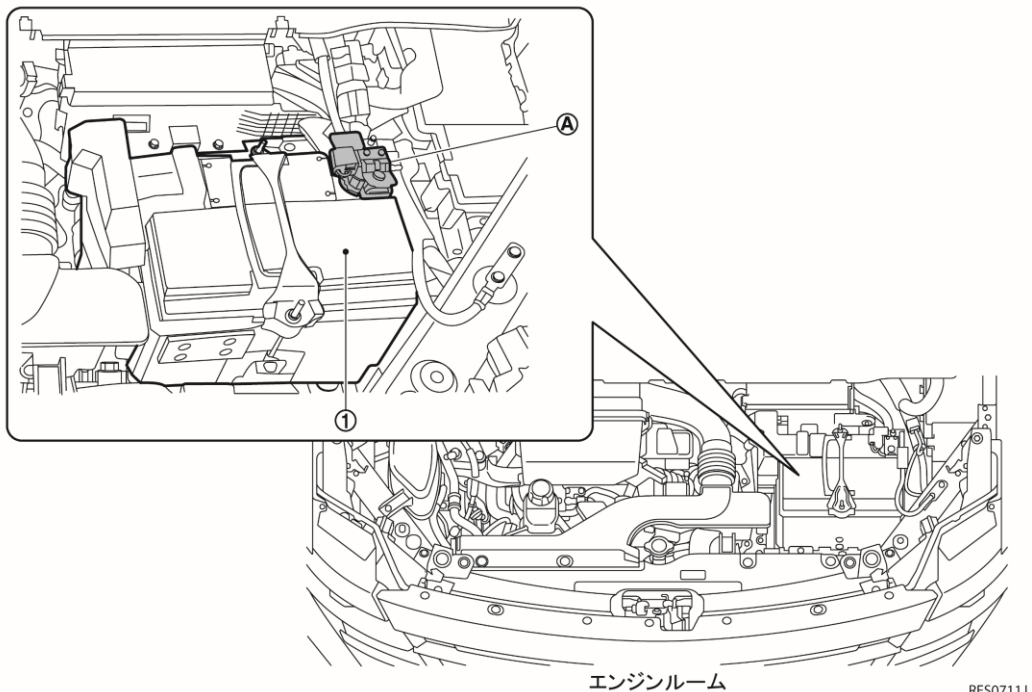
走行可能表示灯が消灯しない場合は、車両の状況に応じて以下の方法を実施してください。

- フードを開けることができる場合 ⇒ 方法 B、または C
- フードを開けることができない場合 ⇒ 方法 D

9. 12V バッテリー①のマイナス端子(A)を取り外し、絶縁テープで覆う。

参考：

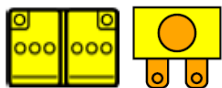
- 12V バッテリーの搭載位置は、車両毎のレスキューシートを参照してください。
- イラストは代表例を示します。



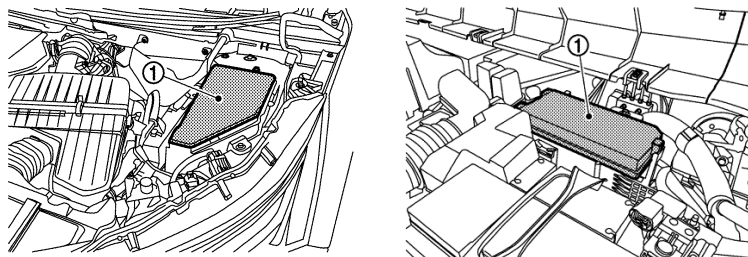
10. パワースイッチを OFF にしたのち、高電圧用コンデンサの放電が完了するまで 10 分間待機します。
11. レスキュー作業を開始します。

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

#### 方法 B : ヒューズを取り外す



1. モーター/エンジンルームのヒューズボックスカバー①を取り外し、該当のヒューズを取り外します。  
イラストは代表例を示します。



2. 該当のヒューズが確認できない場合は、ヒューズボックス内のヒューズをすべて取り外します。
3. 可能であれば 12V バッテリーのマイナス端子を取り外し、絶縁テープで覆います。



**注意：**

12V バッテリーマイナス端子の取り外しが不可能な場合は、12V 系回路の遮断ができません。ハーネスのショート、又は衝撃により SRS エアバッグシステムが突然展開し、重大な傷害につながる可能性がありますので、十分な対策を行ったうえでレスキュー作業を行ってください。

**参考：**

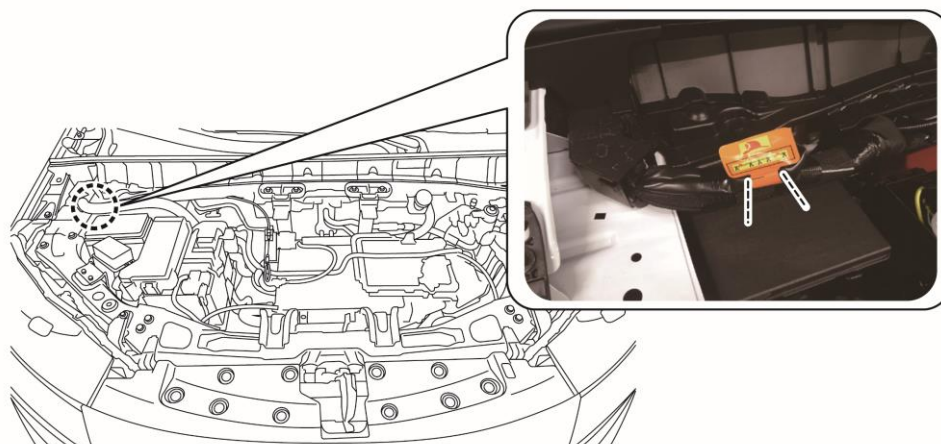
- 12V バッテリーの搭載位置は、車両毎のレスキューシートを参照してください。
- 12V バッテリーのマイナス端子取り外し手順については、方法 A「パワースイッチを OFF にする」の手順 9を参照してください。

4. ヒューズを取り外したのち、高電圧用コンデンサの放電が完了するまで 10 分間待機します。
5. レスキュー作業を開始します。

#### 方法 C : ループハーネスを切断する。(ループハーネス採用車)



1. モータールームにあるループハーネスのラベル両端を切断する。



RES0838J

2. 可能であれば 12V バッテリーのマイナス端子を取り外し、絶縁テープで覆います。

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則



**注意：**

12V バッテリーマイナス端子の取り外しが不可能な場合は、12V 系回路の遮断ができません。ハーネスのショート、又は衝撃により SRS エアバッグシステムが突然展開し、重大な傷害につながる可能性がありますので、十分な対策を行ったうえでレスキュー作業を行ってください。

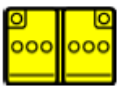
**参考：**

- 12V バッテリーの搭載位置は、車両毎のレスキューシートを参照してください。
- 12V バッテリーのマイナス端子取り外し手順については、方法 A「パワースイッチを OFF にする」の手順 9 を参照してください。

3. ループハーネスを切断したのち、高電圧用コンデンサの放電が完了するまで 10 分間待機します。

4. レスキュー作業を開始します。

#### 方法 D：サービス・プラグを取り外す（絶縁保護具を準備できる場合）



**危険：**

サービス・プラグを取り外す際は、必ず絶縁保護具を着用してください。  
感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至る可能性があります。



**警告：**

車両が以下の状態に当てはまる場合は、危険を伴うため、サービス・プラグへアクセスしないでください。

- リチウムイオンバッテリーから煙（白煙）が発生している。
- 車両から異臭（焦げたにおい）が発生している。

運搬などでサービス・プラグを取り外す場合は、赤外線（IR）温度計（非接触温度計）を使用し、リチウムイオンバッテリー面や、点検ホールカバーの温度が周囲の温度と同等以下まで下がっていること、及びサービス・プラグに溶損・破損が無いことを確認してから作業を行ってください。

非接触温度計が無い場合は、24 時間以上観察し、異常が無いことを確認してから作業を行ってください。

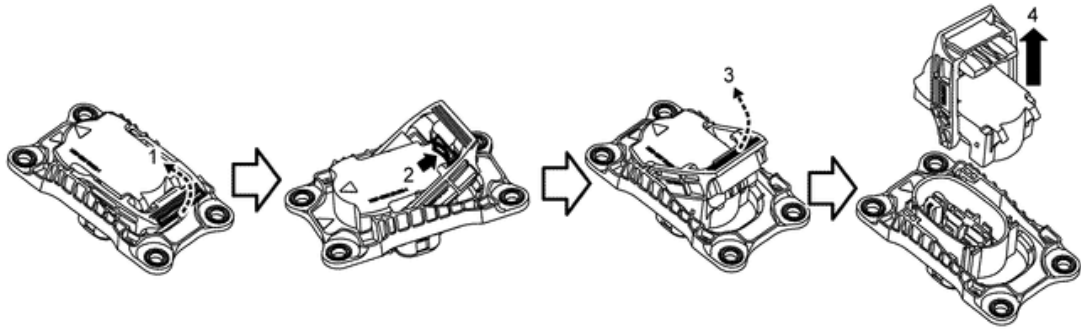
1. 車両のサービス・プラグにアクセスする。

**参考：**

- サービス・プラグの搭載位置やアクセス方法は、車両毎のレスキューシートを参照してください。
- サービス・プラグは、車両によって搭載位置が異なります。後部座席下、センターコンソール下、または前席下に搭載されている場合があります。
- サービス・プラグは、通常適切な工具を使用してアクセスしますが、適切な工具が用意できない緊急時には、バール等で変形させるなどしてアクセスが可能です。

### 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

2. 適切な絶縁保護具を着用し、サービス・プラグを図の手順で取り外します。イラストは代表例を示します。



1. レバーに指を掛けて、矢印の方向にレバーが停止するまで起こします。
2. 爪を押してロックを解除します。
3. レバーを矢印の方向に起こします。
4. レバーを持ちながら矢印の方向にサービス・プラグを引き抜きます。

3. 可能であれば 12V バッテリーのマイナス端子を取り外し、絶縁テープで覆います。



**注意：**

12V バッテリーマイナス端子の取り外しが不可能な場合は、12V 系回路の遮断ができません。ハーネスのショート、又は衝撃により SRS エアバッグシステムが突然展開し、重大な傷害につながる可能性がありますので、十分な対策を行ったうえでレスキュー作業を行ってください。

参考：

- 12V バッテリーの搭載位置は、車両毎のレスキューシートを参照してください。
- 12V バッテリーのマイナス端子取り外し手順については、方法 A「パワースイッチを OFF にする」の手順 9 を参照してください。

4. サービス・プラグを取り外したのち、高電圧用コンデンサの放電が完了するまで 10 分間待機します。

5. レスキュー作業を開始します。



**警告：**

12V バッテリーマイナス端子の取り外しが不可能な場合は、12V 系回路の遮断ができません。ハーネスのショート、又は衝撃により SRS エアバッグシステムが突然展開し、重大な傷害につながる可能性がありますので、十分な対策を行ったうえでレスキュー作業を行ってください。

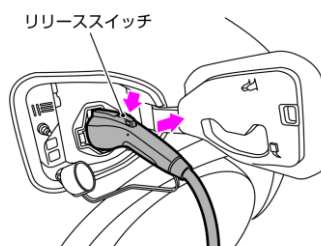
## 3. 直接的な危険の無効化／安全規則

### 3. 充電コネクタの取り外し

車両の充電ポートに充電コネクタが接続されている場合は、充電コネクタの接続を外し、充電・給電を停止させてください。

#### 普通充電コネクタの取り外し

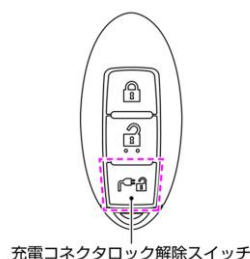
普通充電コネクタのリリーススイッチを押し、ロックを解除して普通充電コネクタを取り外してください。



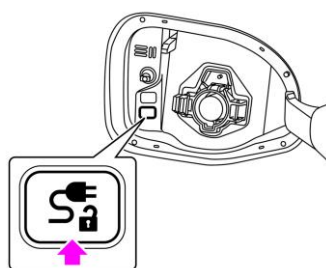
車種により普通充電コネクタをロックする機能があります。普通充電コネクタにロックがかかっている場合は以下の方法でロックを解除してください。

参考：

- ドアを施錠状態から開錠（ドアロックを解除）することで、一定時間充電コネクタロックが解除されます。
- 充電ポートリッドオープナースイッチ、またはインテリジェントキーの充電コネクタロック解除スイッチを押すことで一定時間充電コネクタロックが解除されます。



- インテリジェントキーを所持した状態で充電コネクタアンロックスイッチを押すことで、一定時間充電コネクタロックが解除されます。



#### 急速充電コネクタの取り外し

急速充電を停止し、充電コネクタを取り外してください。

## 4. 乗員へのアクセス

### 4-1. 乗員へのアクセス

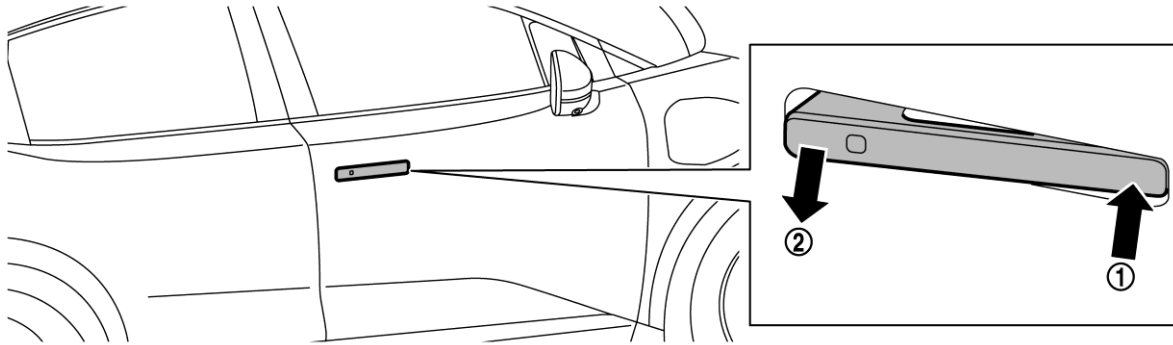
#### 1. ドア

- ドアに取り付けられたノブまたはハンドルを操作することで開けることができます。
- ドアは、電気式・油圧式といった従来の救助ツールやハンドツールによって取り外すことができます。状況によっては、ドアをこじってヒンジを外すと作業が容易になります。

#### フラッシュドアハンドル

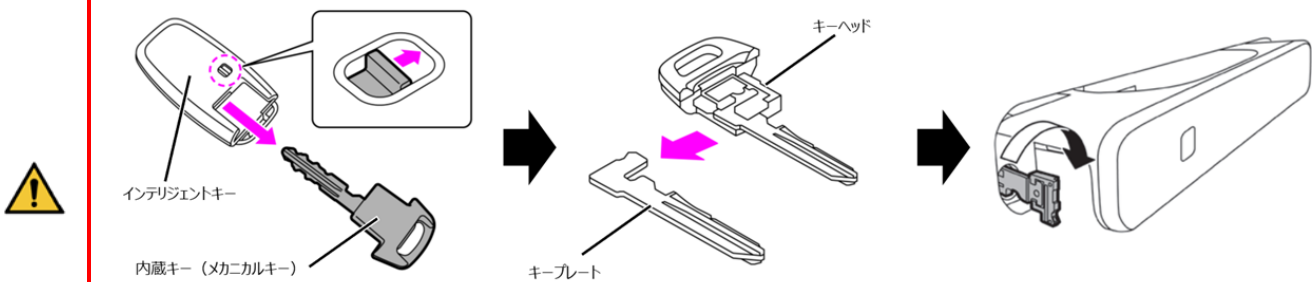
12V バッテリーが切れていてドアハンドルが外側に展開しない場合は、以下の手順でドアを開くことができます。

1. ドアハンドルの前部を押します。
2. ドアハンドルを格納位置から引き出し、ドアハンドルを引いてドアを開きます。



#### 注意：

ドアがロックされている場合は、インテリジェントキーの内蔵キー（メカニカルキー）を使用してロックを解除してください。



1. インテリジェントキーから内蔵キー（メカニカルキー）を引き出します。
2. キープレートをキーヘッドから取り外します。
3. 運転席ドアにある鍵穴にキープレートを差し込んで車両前方にキープレートを回すと解錠します。
4. 施錠するときは、車両後方にキープレートを回します。

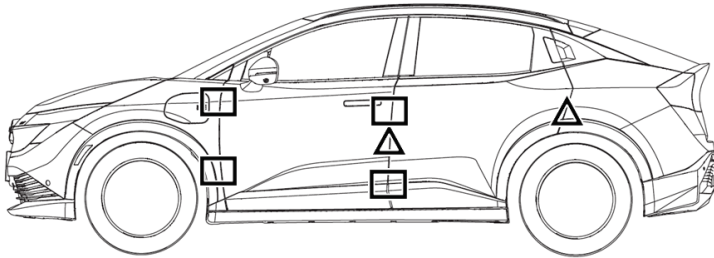
## 4. 乗員へのアクセス

### ドアヒンジ、及びストライカー位置

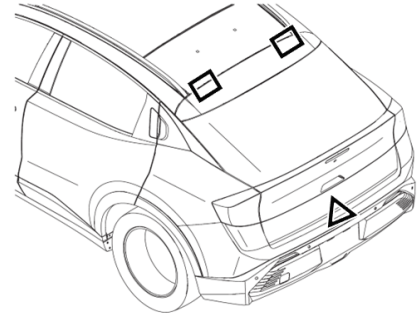
通常、ドアヒンジ、スライドドアローラー（スライドドア車）及びストライカーは下記の位置に取り付けられています。

切断によるドアの取り外しを実施する場合は、下記記載の位置を参考に実車のドアヒンジ、及びストライカー位置を確認してください。

#### <ヒンジドア車両>

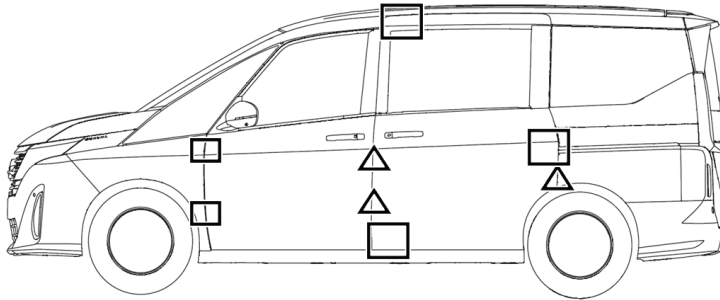


□ : ヒンジ

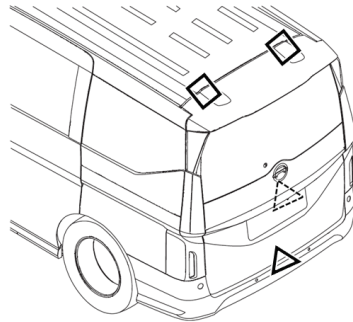


△ : ストライカー

#### <スライドドア車両>



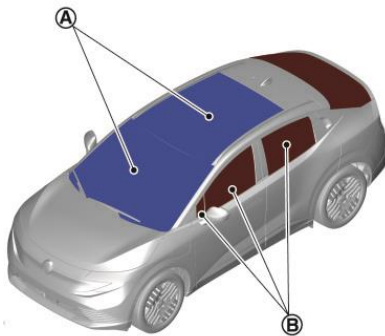
□ : ヒンジ及びスライドドアローラー



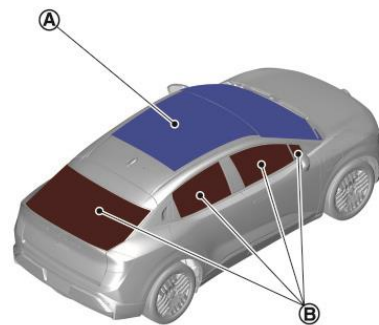
△ : ストライカー（点線箇所はデュアルバックドア車のみ）

## 2. ガラス

- 車両に使用されているガラスには、主に合わせガラスと強化ガラスがあります。
  - 合わせガラスは主にフロントガラス（ウインドシールドガラス）に使用されていますが、車両によっては、フロントガラス以外の箇所に使用されている場合もあります。
- 強化ガラスは主にフロントガラス以外の箇所に使用されています。



A: 合わせガラス



B: 強化ガラス

各車両に採用されているガラスの種類については、各車両のレスキューシートを参照してください。

## 4. 乗員へのアクセス

- 合わせガラスは、2枚のガラスの間に中間膜（フィルム）を挟み、加熱・圧着して一体化したガラスです。中間膜の働きにより、万が一割れても破片が飛び散りにくく、安全性に優れています。さらに、物が貫通しにくい特長もあります。
- 強化ガラスは、ガラスを高温に加熱したあと急速に冷却することで、表面に圧縮応力を生じさせ、強度を高めたガラスです。普通のガラスよりも割れにくく、割れたときも細かい粒のように碎けるため、けがのリスクを抑えやすい特長があります。
- ガラスに次のような刻印（マーク）が表示されている場合は、この表示によって、ガラスの種類を見分けることができます。

Eマーク



- 合わせガラス：XI、V-XI
- 強化ガラス：無印、V

JISマーク



- 合わせガラス：L
- 強化ガラス：T



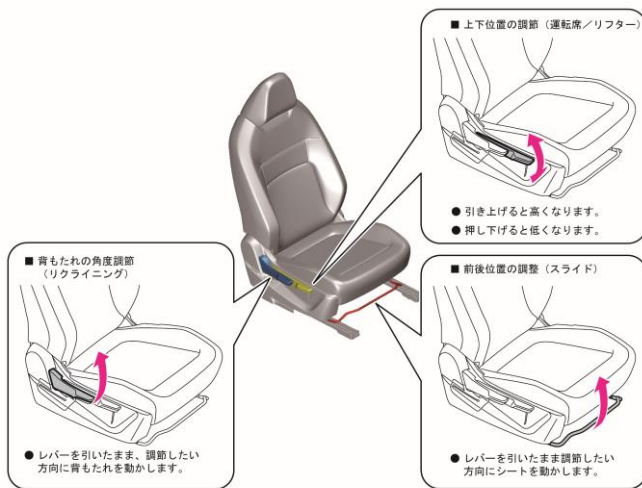
注意：

- 車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない、またはガラスの種類を示す表示の位置が異なる場合があります。
- 合わせガラスは脱出用ハンマー等で割ることはできません。車両のガラスを割る作業が必要になる場合は強化ガラスが使用されている面で作業を実施してください。

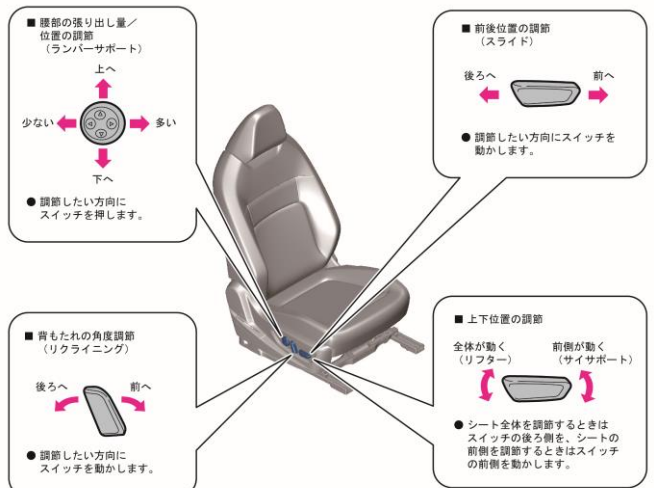
## 3. フロントシート

- フロントシートには、マニュアルシート及びパワーシートがあります。
- マニュアルシートはレバーを操作し、シートポジションの調節をおこないます。パワーシートはスイッチを操作し、シートポジションを任意に調節できます。

<マニュアルシート>



<パワーシート>



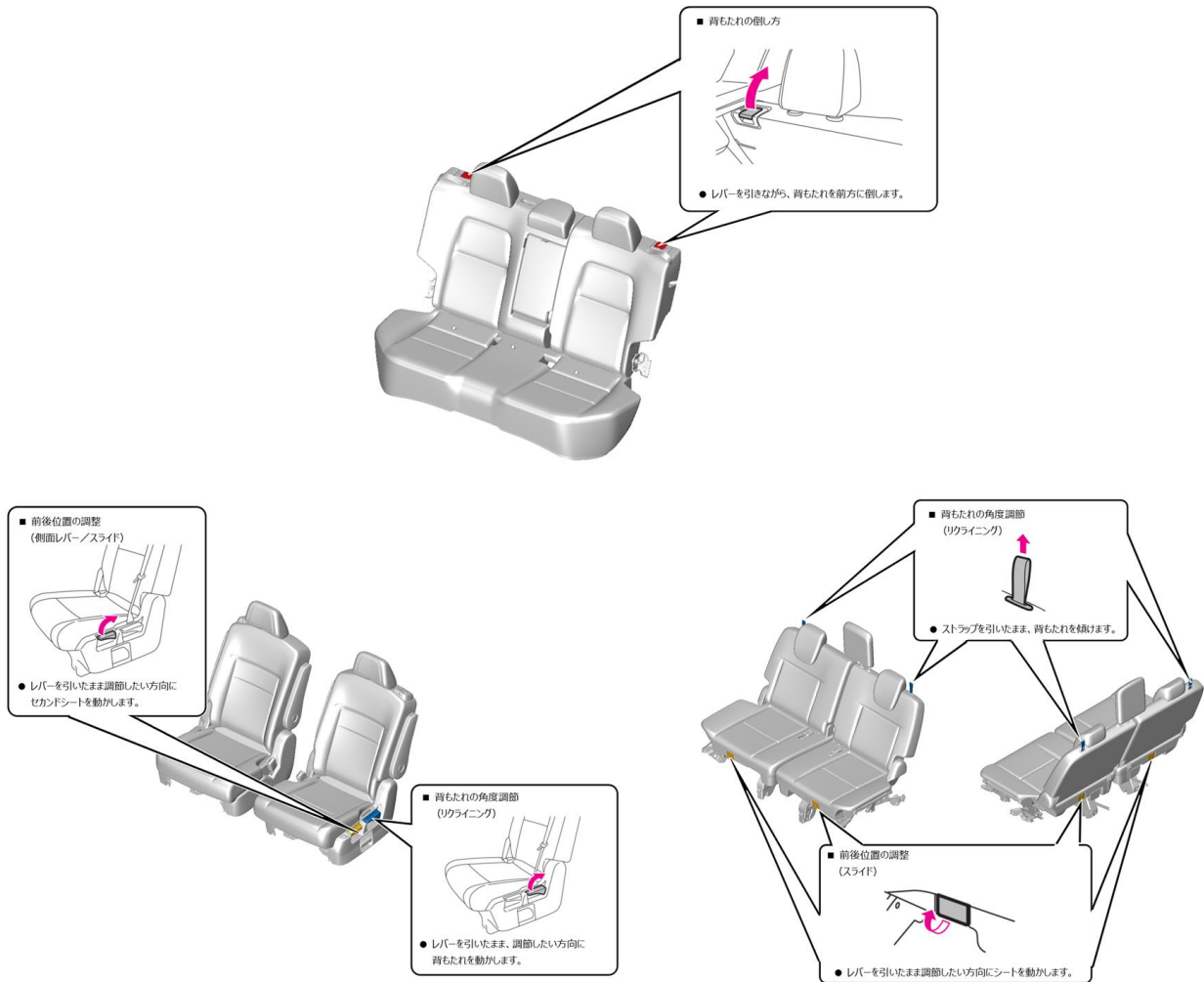
注意：

- 12V バッテリーの接続を切り離すと、パワーシートの操作が出来なくなります。12V バッテリー端子取り外し前に必要に応じてシートの操作を行ってください。
- パワーシートの車両にはメモリー機能が搭載されている場合があります。パワースイッチの操作によりシートが意図しない動作をする場合がありますので注意してください。

## 4. 乗員へのアクセス

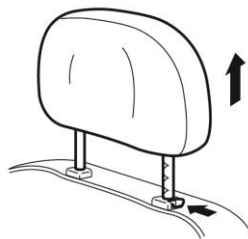
### 4. リヤシート

- リヤシートはレバーやストラップを操作し、シートポジションの調節をおこないます。



### 5. ヘッドレスト

- ヘッドレストはボタンを押しながら引き上げるにより取り外すことができます。



#### 注意：



ヘッドレストスピーカーが搭載されている車両は、通常、ヘッドレストの取り外しは出来ません。緊急時に取り外す必要がある場合は、ヘッドレストに接続されている配線及び配線カバーを切断してからボタンを押して引き抜いてください。

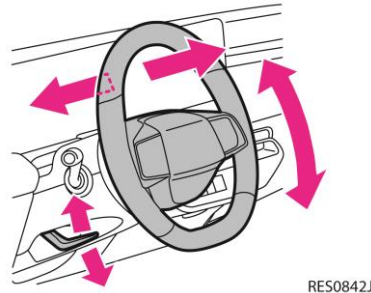
## 4. 乗員へのアクセス

### 6. チルト&テレスコピックステアリング

- ハンドル位置を任意の位置に調節できる構造として、上下方向のチルト機構及び前後方向のテレスコピック機構があります。
- それぞれの位置調節方法として、マニュアル式及び電動式があります。

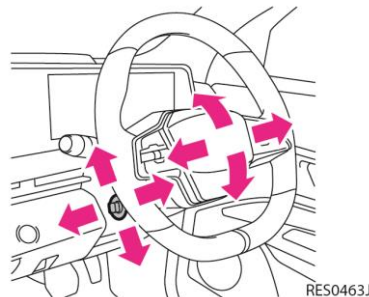
#### <マニュアル式>

ハンドル左下のレバーを押し下げ、ハンドルを前後・上下に動かします。  
適切な位置で止め、レバーを引き上げて固定します。





#### <電動式>

ハンドル左下のスイッチを前後上下に押し調節します。



## 4-2. 乗員へのアクセス

### 1. 乗員へのアクセス(車両の切断)

	<p><b>危険：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• レスキュー作業を実施する前に高電圧システムが停止状態になっていないと、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至る可能性があります。</li><li>• やむを得ず高電圧部品や高電圧ハーネスの内部露出部分に触れる場合又は触れるおそれがある場合には、必ず絶縁保護具の着用、及び絶縁テープで露出部を覆うなどの処置を行ってください。</li></ul>
	<p><b>警告：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 火花による引火等により、レスキュー作業員・乗員に重大な傷害を及ぼすおそれがあるので、油圧カッターなどの火花の飛ばない適切な機器を使用して、車両を切断してください。</li><li>• リチウムイオンバッテリー本体は絶対に切断しないでください。</li></ul>

#### 高電圧部位

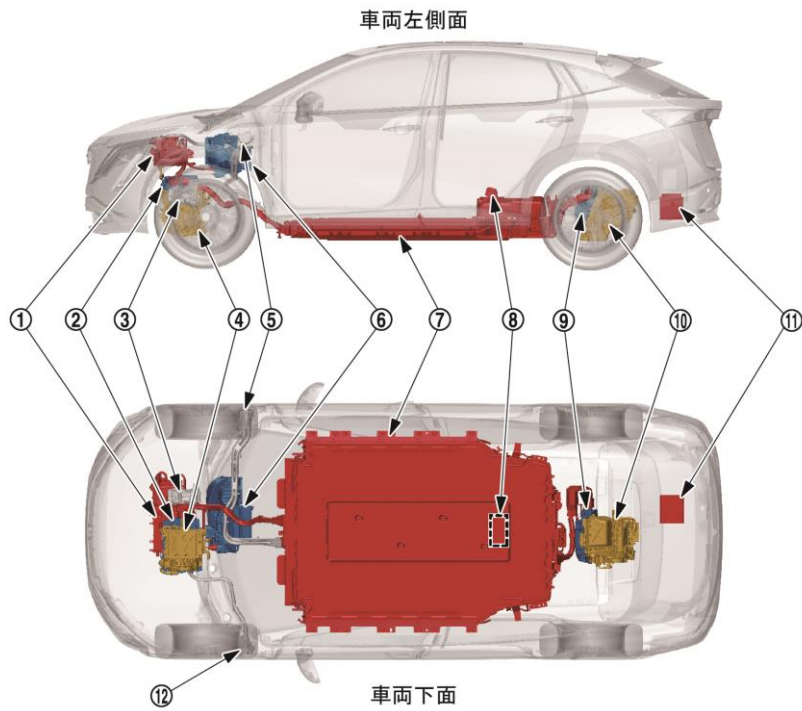


- 高電圧部位は感電のおそれがあるため切断は行わないでください。
- 高電圧部品の搭載位置、詳細情報は、各車両のレスキューシート、及び主要な高電圧機器を参照してください。
- イラストは代表例を示します。

## 4. 乗員へのアクセス



### EV 車の高電圧部位

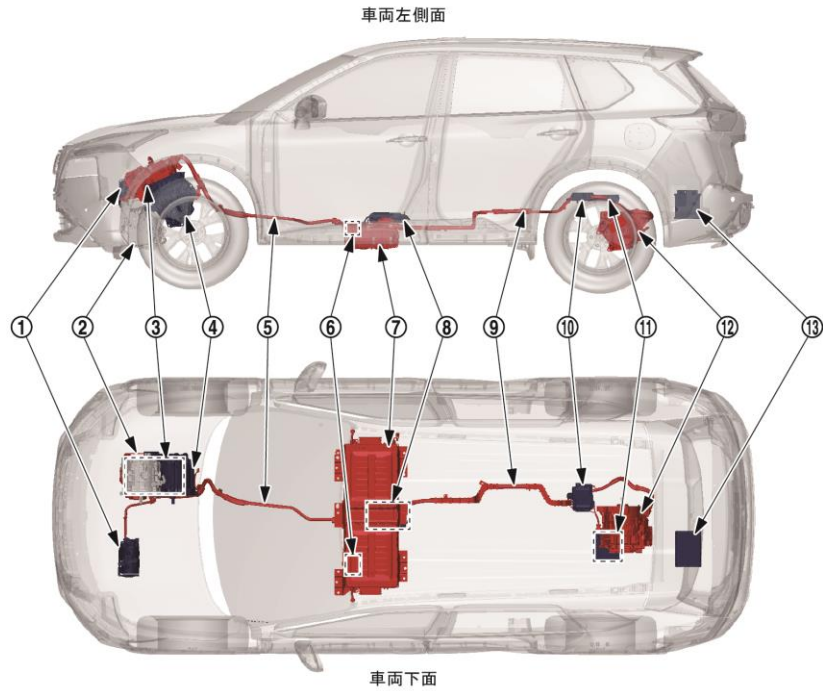


①	高電圧供給ユニット ASSY	②	駆動モーターインバーター	③	高電圧コンプレッサー
④	駆動モーター	⑤	急速充電ポート	⑥	エアコンユニット (PTC ヒーター内蔵)
⑦	高電圧バッテリー	⑧	サービス・プラグ	⑨	4WD 車用インバーター
⑩	4WD 車用駆動モーター	⑪	12V バッテリー	⑫	普通充電ポート

## 4. 乗員へのアクセス



### e-POWER 車の高電圧部位

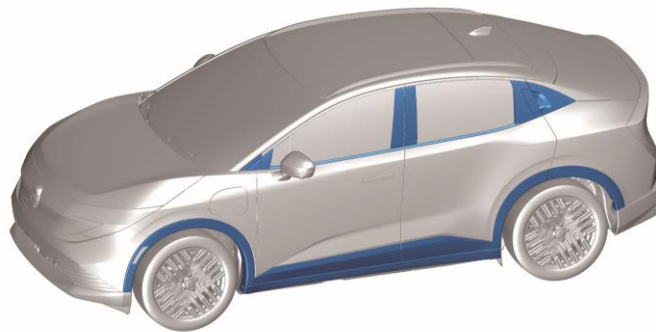


RES0639J

①	高電圧コンプレッサー	②	発電モーター	③	インバーター
④	駆動モーター	⑤	高電圧ハーネス	⑥	サービス・プラグ
⑦	高電圧バッテリー	⑧	DC/DC コンバーター	⑨	高電圧ハーネス
⑩	パワープラグジャンクションボックス	⑪	パワープラグインバーター (1500W AC インバーター)	⑫	4WD 専用インバーター (4WD 車用駆動モーター一体)
⑬	12V バッテリー				

### 樹脂部品の位置

- リヤゲートやフロントフェンダーなど、ボディパネルに樹脂部品が使用されている車両の場合、樹脂部分はスプレッターを使用して広げにくい場合があります。
- イラストは代表例を示します。

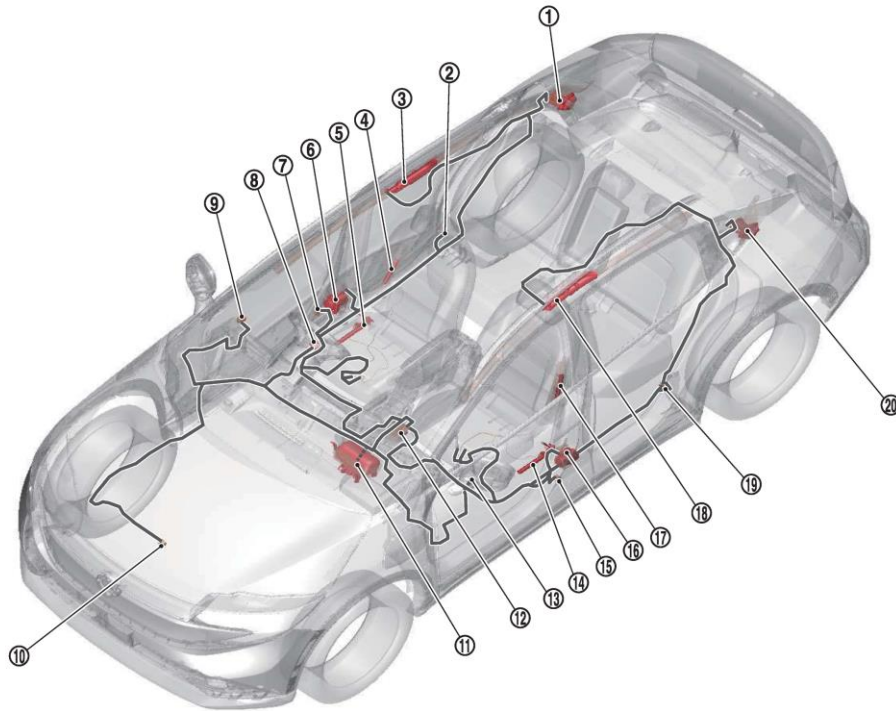


## 4. 乗員へのアクセス

### SRS エアバッグシステム



- エアバッグ未展開時は、高電圧システムを遮断して 12V バッテリーのマイナス端子を取り外し後、3 分以上経過していればインフレーター部分以外は切断が可能です。
- エアバッグ展開済みの場合は、展開しているエアバッグのハーネス、モジュール、インフレーターへの切断が可能です。
- エアバッグ、インフレーター、シートベルトプリテンショナーの搭載位置は、各車両のレスキューシートを参照してください。
- イラストは代表例を示します。



①	プリテンショナーシートベルト (後席右側) インフレーター	②	Cピラーサテライトセンサー (右側)	③	カーテンエアバッグモジュール (右側) インフレーター
④	サイドエアバッグモジュール (運転席) インフレーター	⑤	ラッププリテンショナーシートベルト (運転席) インフレーター	⑥	プリテンショナーシートベルト (運転席) インフレーター
⑦	Bピラーサテライトセンサー (右側)	⑧	運転席エアバッグモジュール インフレーター	⑨	フロントドアサテライトセンサー (右側)
⑩	クラッシュゾーンセンサー	⑪	助手席エアバッグモジュール	⑫	エアバッグセンサーユニット
⑬	フロントドアサテライトセンサー (左側)	⑭	ラッププリテンショナー (助手席) インフレーター	⑮	Bピラーサテライトセンサー (左側)
⑯	プリテンショナーシートベルト (助手席) インフレーター	⑰	サイドエアバッグモジュール (助手席) インフレーター	⑱	カーテンエアバッグモジュール (左側) インフレーター
⑲	Cピラーサテライトセンサー (左側)	⑳	プリテンショナーシートベルト (後席左側) インフレーター		

## 4. 乗員へのアクセス




### 高張力鋼板部位、及び高電圧バッテリー搭載位置

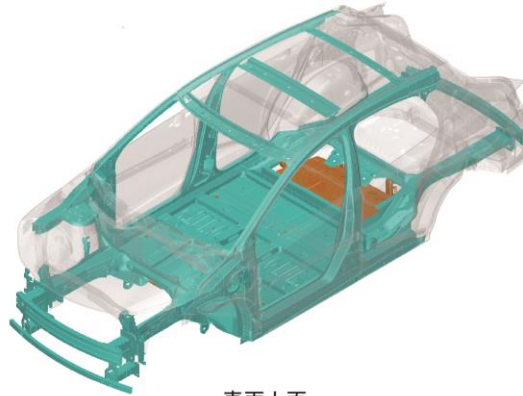


**危険：**

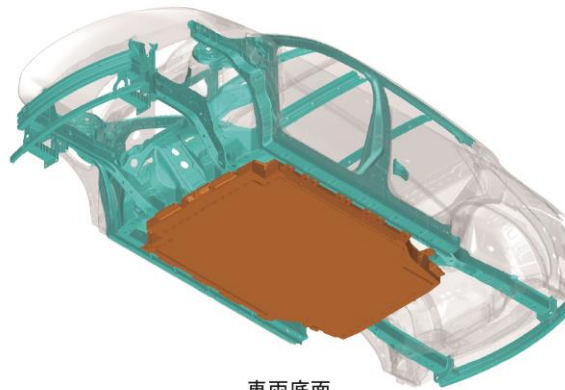
高電圧バッテリー本体は絶対に切断しないでください。

- 車両底部には高電圧バッテリーが搭載されており、切断禁止箇所となっています。
- 切断困難箇所として、通常の鋼板に比べてより強度がある、高張力鋼板を使用している部位があります。
- 各車両での高張力鋼板の使用箇所、および高電圧バッテリーの搭載位置については、各車両のレスキューシートを参照してください。
- イラストは代表例を示します。

 = 高張力鋼板  
 =  危険（リチウムイオンバッテリー搭載位置）



車両上面



車両底面

RES0665J

## 4. 乗員へのアクセス

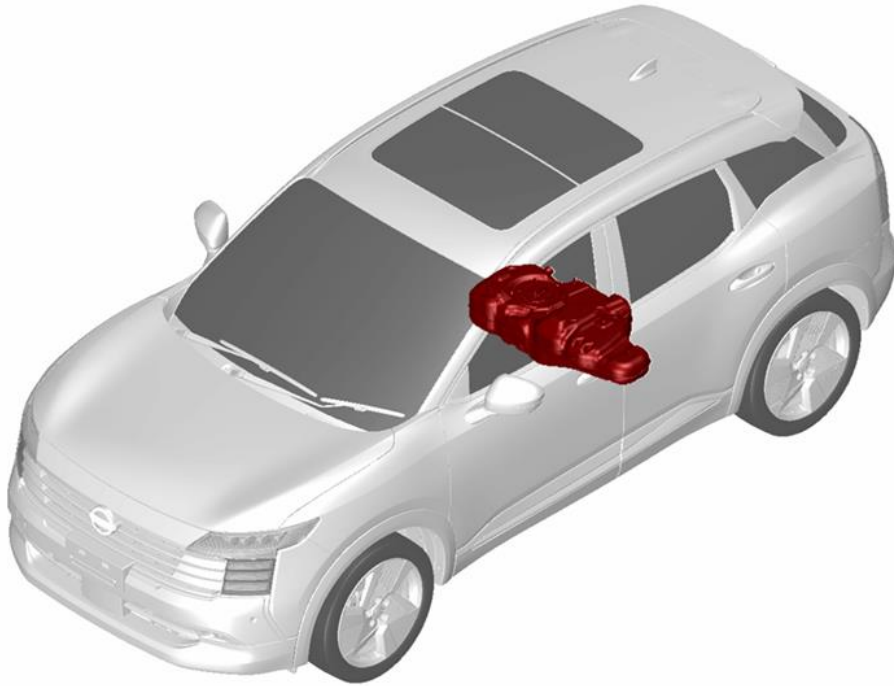
### 燃料タンク位置



#### 危険：

燃料タンクは絶対に切断しないでください。

- e-POWER 車は、発電にエンジンを使用するため、車両下部に燃料タンクが搭載されています。
- 各車両での燃料タンクの詳しい搭載位置については、各車両のレスキューシートを参照してください。
- イラストは代表例を示します。



## 5. 貯蔵エネルギー / 液体 / 気体 / 固体

### 5-1. 高電圧バッテリーの損傷と液漏れ

#### 1. リチウムイオンバッテリー



- リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。
- 電解液は、バッテリーセル内の電極体及びセパレータに浸透しており、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合でも、電解液がリチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。
- 万が一リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は、引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭取ってください。
- また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一電解液に触れたり目に入った場合は多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。
- リチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。



**注意：**

電解液漏出時に使用した吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。

## 6. 火災の対応

### 6-1. 車両火災

#### 1. リチウムイオンバッテリー搭載車



- EV 車両、e-POWER 車両には、高電圧バッテリーが搭載されています。車両毎の高電圧バッテリーの配置については、各車両のレスキューシートを参照してください。
- 高電圧バッテリーの火災は、煙や火災が車両から離れる方向に放出されるように消火を行ってください。
- 高電圧バッテリー火災時は、大量の水で消火を行ってください。（高電圧バッテリーに直接水をかけることで、冷却効果が高くなります。）
- 高電圧バッテリーの損傷したセルは、熱暴走や再発火の可能性があります。
- 延焼防止のため、防火布で車両を覆うことを推奨します。
- 高電圧バッテリーの再発火リスクへの対応は、「[8-2.1 事故車両保管時の注意](#)」を参照してください。

	<p><b>警告：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 重度のやけどや感電による重大事故を防ぐため、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品には触れないでください。</li><li>• 少量の水で消火しないでください。高電圧バッテリー内で短絡が発生し、再発火するおそれがあります。水による消火は、大量放水が可能な場合のみ実施してください。</li><li>• 燃焼中のバッテリーおよび電解液から発生する煙・蒸気は、目・鼻・のどに刺激を与えるおそれがあります。やむを得ず電解液に触れる場合、または触れるおそれがある場合は、ゴム手袋、保護めがね、保護マスク、自給式呼吸器などの適切な保護具を着用してください。</li><li>• 再発火の可能性があるため、消火後は赤外線（IR）温度計（非接触温度計）などを使用し、高電圧バッテリーの温度が周囲環境温度と同等以下まで下がっていることを確認してください。</li></ul>
	<p><b>注意：</b></p> <p>高電圧バッテリーへ大量の放水が困難な場合は、無理に消火せず、完全に燃え尽きさせることを推奨します。</p>

## 7. 水没の対応

### 7-1. 水没

#### 1. 水没時の対応



- 車両の損傷状況を確認し、適切な保護具を着用の上、作業を行ってください。リチウムイオンバッテリーが変形・破損又は内部が露出している場合は、リチウムイオンバッテリーや露出部に触れないように注意してください。
- 高電圧バッテリーを搭載した車両が水没した場合でも、車両本体および高電圧部品は等電位化されているため、車両に触れても感電の危険はありません。ただし、露出した高電圧部品がある場合は感電の恐れがあります。

	<p><b>危険：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 水没車両の損傷レベルは外見で判断できない場合があります。適切な保護具を着用せずに水没車両を取り扱っていると、感電による重傷や死亡事故につながるおそれがあります。</li><li>• 水没により高電圧バッテリーが発火する場合があります。赤外線（IR）温度計（非接触温度計）などを使用し、高電圧バッテリーの温度監視を行ってください。</li></ul>
	<p><b>警告：</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 可能であれば、まず水没車両のパワースイッチを OFF にしてください。その後、感電防止のため、車両を完全に水中から引き上げ、排水処理を実施してください。</li><li>• 水没後の車両で作業を実施する場合は、感電防止のため、必ず適切な保護具を着用し、サービス・プラグを取り外す前に水を除去・排水してください。</li><li>• 車両が水中にある場合は、感電防止のため、高電圧部品や高電圧ハーネス、およびサービス・プラグには絶対に触れないでください。水中で作業を行う場合、または高電圧部品にやむを得ず触れる場合、または触れるおそれがある場合は、必ず適切な保護具を着用してください。</li></ul>

## 8. 牽引 / 移動 / 保管

### 8-1. 車両移動時の取扱いポイント

#### 1. ジャンプスタート（12V バッテリーあがり時の対応）



12V バッテリーの電圧低下、又はあがった場合には、参考として次のような現象が発生することがあります。

- パワースイッチを ON にしてもメーターが表示しない（高電圧システムが起動しない）。
- スタートアップサウンドが鳴らない。
- 照明類が暗い、または点灯しない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- パークロックシステムが作動しないため、車両をパーキングポジションで固定できない。また、パークロックがかかった状態でバッテリーがあがった場合は、解除できない。
- EV 車の高電圧バッテリーを充電できない。



**注意：**

事故車両や水没車両の場合は、安全確認が取れるまでブースターケーブルの接続やパワースイッチを ON にしないでください。

#### ジャンプスタート手順



**警告：**

- ブースターケーブルを接続する場合は、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ブースターケーブルを正しい順番と位置で接続してください。
  - ブースターケーブルを自車バッテリーのマイナス端子に直接接続しないでください。
  - ブースターケーブルのプラス端子とマイナス端子を接触させないでください。
- ブースターケーブルはエンジンやモーター、及びエアコンの配管などに絶対接続しないでください。

1. パーキングブレーキをかけるとともにシフトポジションを P にする。



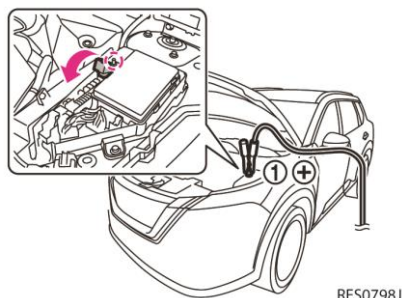
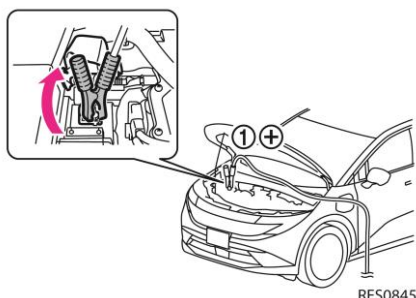
**注意：**

パーキングブレーキやシフトの操作ができない、または状態が確認できない場合は、輪止めなどで車両を確実に固定してください。

2. パワースイッチを OFF にする。

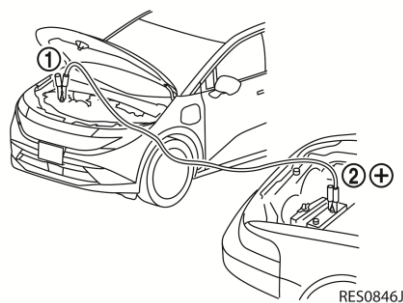
3. フード（ボンネット）を開ける。

4. 赤色のブースターケーブル（+）を救助対象車両の 12V バッテリー（+）端子①に接続する。12V バッテリーがフード（ボンネット）内に装着されていない車両（ラゲッジルームなどに装着）の場合、フード（ボンネット）内のヒューズボックス（+）端子①に接続する。

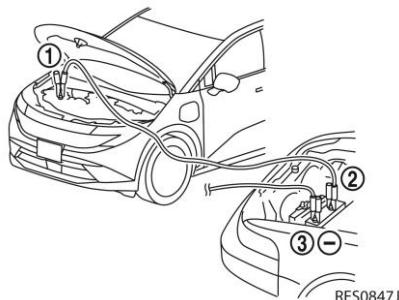


## 8. 牽引 / 移動 / 保管

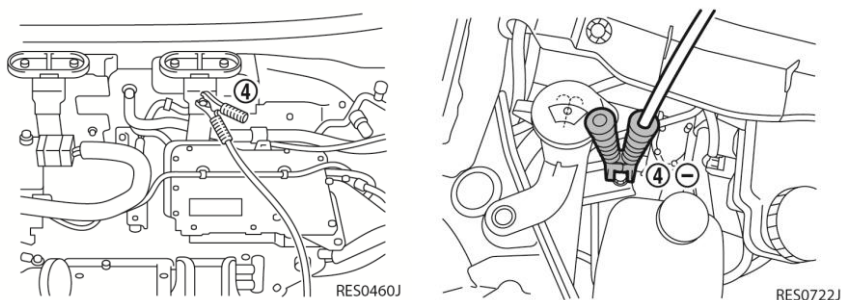
5. 手順 4 で先に接続した赤色のブースターケーブル (+) ①の反対側を支援車両の 12V バッテリー (+) 端子②に接続する。



6. 黒色のブースターケーブル (-) を支援車両の 12V バッテリー (-) 端子③に接続する。



7. 手順 6 で先に接続した黒色のブースターケーブル (-) ③の反対側を救助対象車両の車体④に接続する。




**注意：**

エアコンの配管などに誤って接続しないように注意してください。

- 支援車両のエンジンを始動し、ライトやエアコンなどを切り、電気負荷を無くした上でエンジン回転を上げる。
- 救助対象車両のブレーキペダルを踏み、パワースイッチを押す。
- 走行可能表示灯が点灯したことを確認し、ブースターケーブルを取り付けた反対の順序 (④→③→②→①) で取り外す。

**参考：**

高電圧バッテリーの電力を DC/DC コンバーターで変換して 12V バッテリーを充電するため、そのまま走行可能表示灯の点灯状態を 20 分以上維持してください。

上記手順を実施しても走行可能表示灯が点灯しない、またはメータにシステム異常を示す警告灯  が点灯した場合は、サービス・プラグを取り外し、車両運搬車で車両を移送してください。

## 8. 牽引 / 移動 / 保管

### 2. 電動パーキングブレーキの手動解除

電動パーキングブレーキを、操作しても解除できない場合は、下記手順を参考に作業を行ってください。  
作業手順、及びイラストは代表例を示します。

#### 電動パーキングブレーキの手動解除方法

1. シフトポジションを P にし、シフトインジケータ表示が、P になったことを確認する。

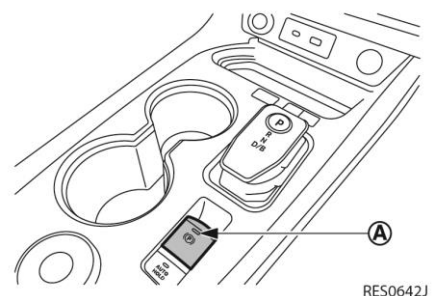
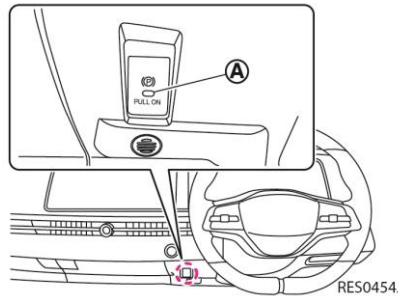
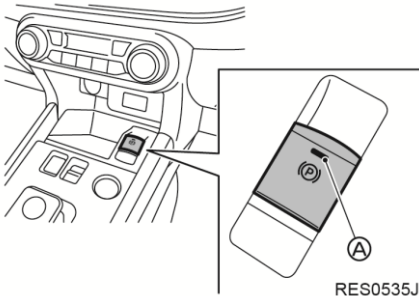


注意：

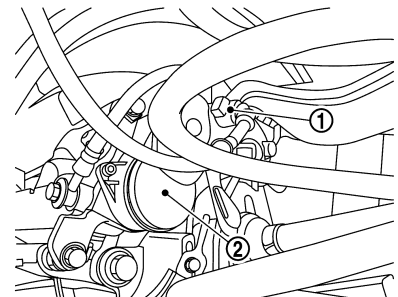
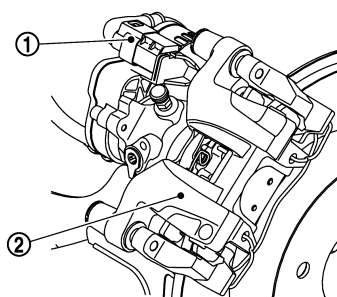
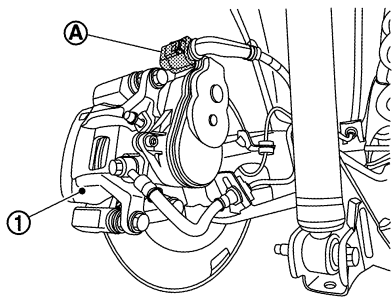
シフトの操作できない、または状態が確認できない場合は、輪止めなどで車両を確実に固定してください。

2. パワースイッチを OFF にする。

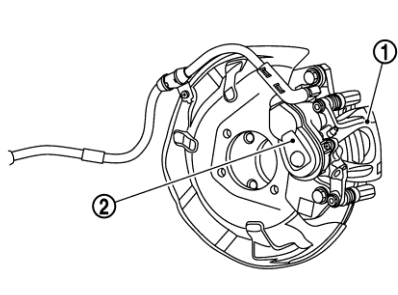
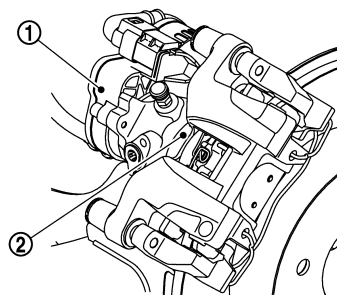
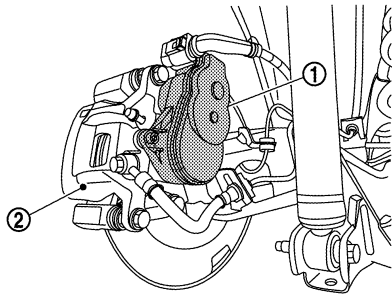
3. パーキングブレーキスイッチの表示灯(A)が消灯していることを確認する。



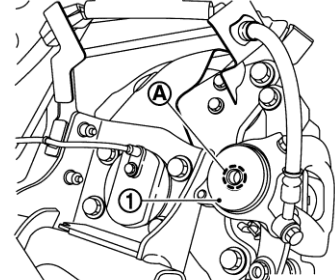
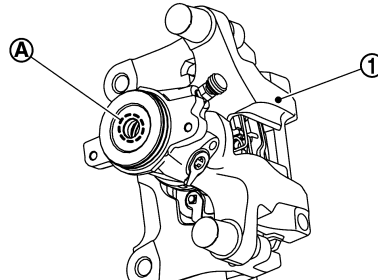
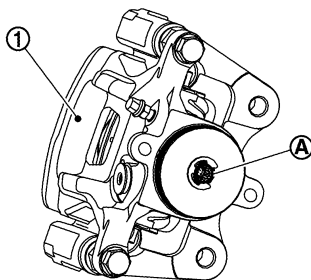
4. パーキングブレーキアクチュエータハーネスコネクタ①をリヤブレーキキャリパ ASSY②から外す。



5. パーキングブレーキアクチュエータ①をリヤブレーキキャリパ ASSY②から取り外す。



6. リヤブレーキキャリパ ASSY①のスピンドル部(A)を右方向に回す。



7. パーキングブレーキを解除する。

## 8. 牽引 / 移動 / 保管

### 3. パークロックの解除

EV 車、e-POWER 車の様な電動車両は、電動式パークロックにより、12V バッテリーあがり時にはパークロックの解除ができなくなります。

12V バッテリーからの通電停止時にパークロック解除を必要とする場合は、下記手順に従い作業を実施してください。作業手順、及びイラストは代表例を示します。

#### 注意：

- やむを得ず前輪接地、又は手押し等で車両の移動を行う場合、パークロックの解除状態（N ポジション）を維持する必要があります。



電動式パークロック車両は、パワースイッチ OFF 状態でパークロックが作動します。N ポジションを維持する為、下記の作業を必ず行ってください。

下記作業を行わずにけん引を行った場合、重大な事故に繋がる可能性があります。

- パークロック解除を行う場合は、事前に輪止めなどで車両を確実に固定してください。
- 外部の 12V 電源がない場合はパークロックの解除ができないため、車載等の方法で車両を移動させてください。

### パークロックの解除方法

1. 救助対象車両に 12V 電力を供給する。
2. ブレーキペダルを踏まない状態でパワースイッチを ON にする。



#### 注意：

READY 状態（走行可能状態）にしないこと。

3. パーキングブレーキが作動していることを確認する。（パーキングブレーキスイッチの表示灯の点灯を確認する。）
4. N ポジションを選択する。

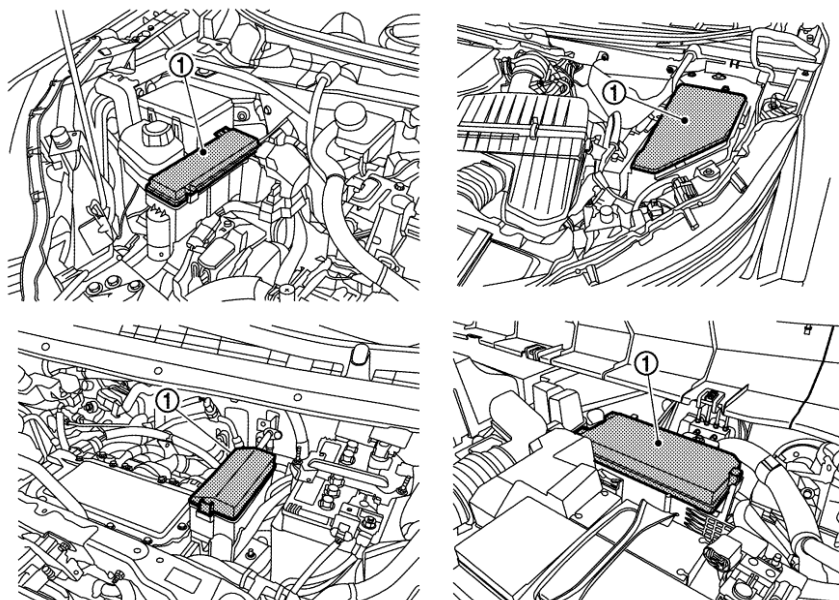
#### 参考：

すべてのドアを閉じた状態でブレーキを踏み、シフトを N ポジションにし、その状態をしばらく保持した後にシフトポジションインジケータが N と表示されたことを確認してください。

5. フードを開け、ヒューズボックス、および F/L・ヒューズホルダのカバー①を取り外す。

#### 参考：

パーキングアクチュエータの電源ヒューズの位置は、車種ごとに異なる為、実車を確認の上、作業してください。



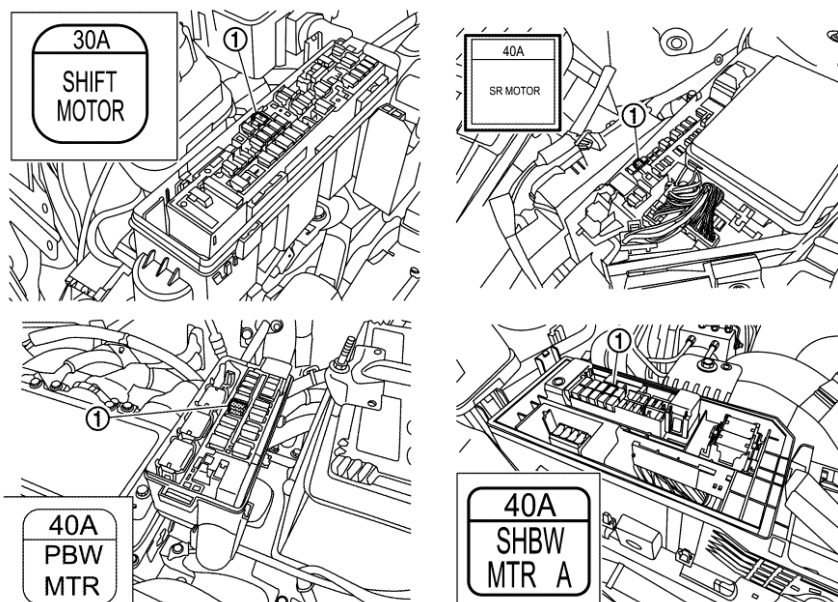
## 8. 牽引 / 移動 / 保管

6. パーキングアクチュエータ電源系統のヒューズ①を取り外す。下記にヒューズ名称の代表例を示します。

- SHIFT MOTOR
- SR MOTOR
- PBW MTR
- SHBW MTR A

参考：

パーキングアクチュエータの電源ヒューズの位置や名称は車種ごとに異なる為、実車を確認の上、作業してください。



7. パーキングブレーキを解除する。



注意：

輪止めなどで車両を確実に固定し、車両が動き出さないようにすること。

8. パワースイッチを OFF にし、12V 電力の供給に使用したブースターケーブル等を車両から取り外す。

9. 車両を移動する。



注意：

移動後も、輪止めなどで車両を確実に固定し、車両が動き出さないようにしてください。

### パークロックの回復方法

1. 12V バッテリーのマイナス端子を取り外す。
2. パークロックの解除で取り外した、パーキングアクチュエータ電源系統のヒューズを再度取り付ける。
3. パークロックの解除で取り外した、ヒューズボックス、および F/L・ヒューズホルダのカバーを再度取り付ける。
4. 12V バッテリーのマイナス端子を取り付ける。

参考：

対象車両の 12V バッテリーが上がっている場合は、12V 電力を供給する。

5. パワースイッチを ON にし、5 秒待機したあと P ポジションに入れる。
6. パワースイッチを OFF にし、5 秒待機する。

## 8. 牽引 / 移動 / 保管

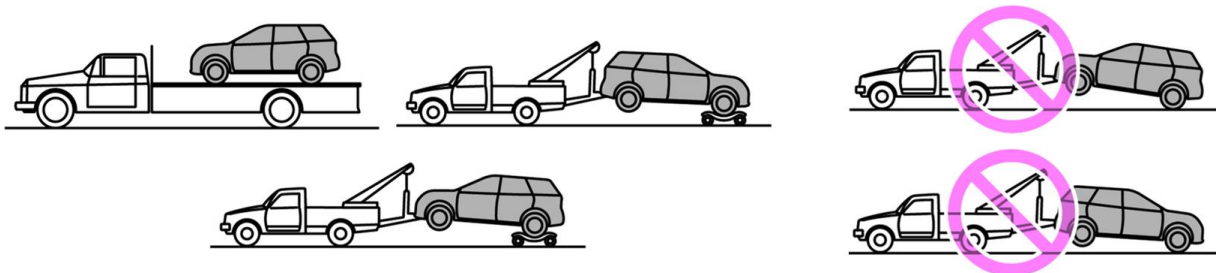
### 4. 車両の運搬要領



必ず4輪を持ち上げた状態で運搬（けん引）を行ってください。

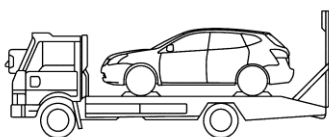
#### 車両運搬時の注意事項

レッカー等により、救助対象車両の車輪（やむを得ない場合を除き）を接地させた状態でけん引しないこと。



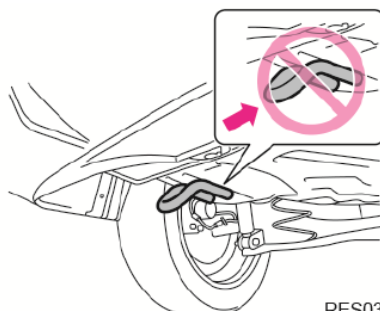
#### 車載

車載時は、車両を確実に固定してください。



車両後部に取り付けられているフックやねじ込み式けん引フック取付穴は、船舶またはトレーラー輸送時の固定専用のため、けん引や車両の固定には絶対使用しないでください。

トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴、またはタイヤ固縛などで車両を固定してください。



RES0392E

## 8. 牽引 / 移動 / 保管

### 4 輪接地

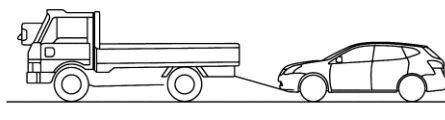
やむを得ず 4 輪接地でけん引する場合は、下記に注意してください。

- パーキングブレーキを解除する。
- パワースイッチを ON にして、シフトポジションを N ポジションにする。



**注意：**

- けん引は 30 km/h 以下の速度でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- 走行可能表示灯が消灯していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効が悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりするため注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが加熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引くかトレーラーに搭載してください。
- オート P ポジション機能により、シフトポジションを P ポジションから N ポジションに切り替えることが出来なくなるため、けん引中はパワースイッチを OFF にしないでください。




**危険：**

- 高電圧部品や高電圧ハーネスに損傷がある場合は車両の運搬作業実施前に、高電圧システムが停止状態になっていないと、感電により重大な傷害につながり、最悪の場合、死亡に至る可能性があります。
- やむを得ず高電圧部品や高電圧ハーネスの内部露出部分に触れる場合又は触れるおそれがある場合には、必ず絶縁保護具を着用して絶縁テープでハーネスを覆ってください。



**注意：**

- 事故で損傷している車両や、浸水の恐れがある車両は、安全確認が取れるまでパワースイッチを ON にしないでください。
- 救助対象車両を車両運搬車で移送する際は、12V バッテリーのマイナス端子を外し、絶縁テープで保護してください。
- 下記いずれかに該当する場合にはパワースイッチを 2 秒以上長押しして OFF にした後、絶縁保護具を着用してサービス・プラグを取り外し、車両運搬車により移送してください。
  - ① 高電圧部品や高電圧ハーネスに損傷がある場合。
  - ② 駆動系、ブレーキ、サスペンション、タイヤなどに損傷がある場合。
  - ③ 油、冷却水などの液漏れがある場合。
  - ④ ブレーキを踏みながら、パワースイッチを ON にしても、走行可能表示灯が点灯しない場合。
  - ⑤ メータにシステム異常を示す警告灯  が点灯、および異常を示すメッセージが表示された場合。
  - ⑥ 救助対象車両に浸水の恐れがある場合、作業には適切な保護具を必ず着用の上、水を除去・排水してからサービス・プラグを取り外してください。詳細は「7.水没時の対応」を確認してください。

## 8. 牽引 / 移動 / 保管

### 5. けん引方法

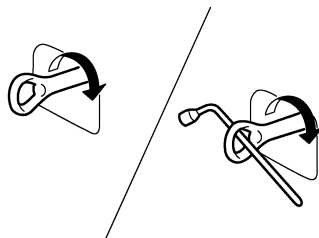


注意：

高電圧システムが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりするので注意してください。

#### けん引フックの設置

1. ラゲッジルームなど、車両に搭載されているけん引フックを取り出す。
2. フロントバンパーの、けん引フック取付部カバーを外す。
3. けん引フックを取付穴に差し込み、図の様に金属の固い棒などを使用して取り付ける。



RES0115E

## 8-2. 車両保管時の取扱いポイント

### 1. 事故車両保管時の注意



事故処理後の車両保管など、関係者が車両から離れる場合には、高電圧回路の遮断（サービス・プラグの取り外し）を行い、周囲に本車両が高電圧のリチウムイオンバッテリーを有する電気自動車であることを喚起するため、次ページの「高電圧作業中に付き触るな！」の標示を行ってください。

#### 高電圧バッテリー搭載車両の保管作業

1. 保管車両の 12V バッテリーからマイナス端子を外す。
2. 保管車両からサービス・プラグを取り外す。

参考：

水分がある場合は、あらかじめ除去しておく。

3. 保管車両が周辺の建物や車両、可燃物から十分な距離（15m 以上推奨）が取れているか確認する。
4. 可能であれば、延焼防止のため、防火布で車両を覆うことを推奨します。

作業担当者

高電圧作業中に付き  
触るな！



警告！

警告！



高電圧作業中に付き  
触るな！

作業担当者

## 9. 重要な追加情報

### 9-1. 救助に関連する補足事項

#### 1. SRS エアバッグ

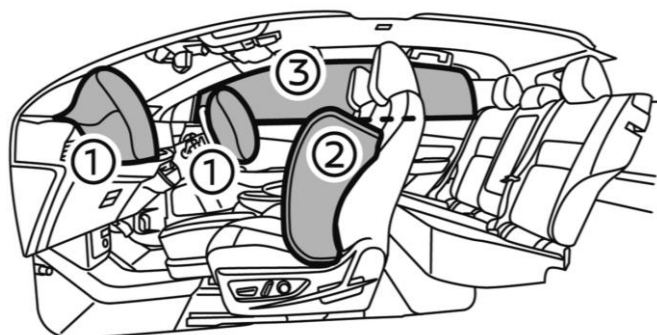


SRS エアバッグは、強い衝撃時に作動し、シートベルトとともに乗員への衝撃を緩和します。種類や搭載位置は、各車両のレスキューシートを参照してください。



**警告：**

- 12V バッテリーのマイナス端子を取り外し後、SRS エアバッグシステムは電圧を 3 分間保持しています。ハーネスのショート、又は衝撃により SRS エアバッグが突然展開し、重大な傷害につながる可能性があります。経過時間を確認してから作業を行ってください。
- SRS エアバッグの予期せぬ展開、破裂の恐れがあるため、展開していない SRS エアバッグのインフレーターを切断しないでください。



- ① SRS エアバッグ（前席）
- ② SRS サイドエアバッグ（前席）
- ③ SRS カーテンエアバッグ

#### 2. シートベルトプリテンショナー

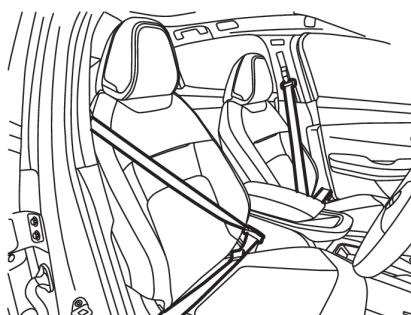


シートベルトプリテンショナーは、強い衝撃時に作動し、シートベルトを瞬時に巻き込むことで乗員の前方移動を抑えて衝撃を緩和します。搭載位置は、各車両のレスキューシートを参照してください。



**警告：**

- 12V バッテリーのマイナス端子を取り外し後、シートベルトプリテンショナーは電圧を 3 分間保持しています。ハーネスのショート、又は衝撃によりシートベルトプリテンショナーが突然作動し、重大な傷害につながる可能性があります。経過時間を確認してから作業を行ってください。
- シートベルトプリテンショナーの予期せぬ作動のおそれがあるため、シートベルトプリテンショナーを切断しないでください。



## 9. 重要な追加情報

### 3. ガス封入ダンパー

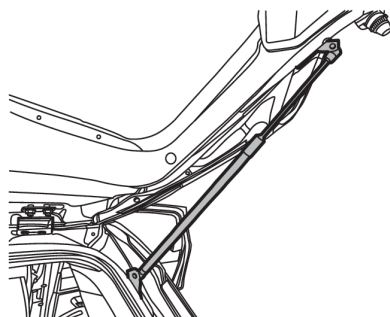


バックダアスター（ガス封入ダンパー）は、内部に封入された高圧ガスとオイルの働きにより、操作力を軽減します。搭載位置は、各車両のレスキューシートを参照してください。



#### 警告：

- ガス封入ダンパーは、車両火災等で加熱されると、内部のガスが膨張により破裂し、負傷するおそれがあります。
- ガス封入ダンパーを切断すると、内部のガスにより金属片が飛散するおそれがあります。やむを得ず切断する場合は、保護メガネ等の適切な保護具を着用してください。



## 10. 使用したピクトグラムの説明

### 10-1. 使用したピクトグラムの説明

本マニュアルで使用されているピクトグラムの意味は、以下のとおりです。

	EV 車		e-POWER 車
	エアバッグ		インフレーター
	シートベルトプリテンショナー		ガスステー/プリロードスプリング
	高張力鋼板範囲		12V バッテリー
	フューエルタンク		高電圧バッテリー
	高電圧ハーネス		高電圧遮断装置
	高電圧遮断ヒューズボックス		高電圧部品
	ループハーネス		インテリジェントキーを遠ざける
	フロントフード		トランク/バックドア
	赤外線 (IR) 温度計 (非接触温度計)		注意
	健康有害性		可燃物
	腐食性物質		爆発物
	急性毒性		感電注意
	水で消火		

© 2026 Nissan Motor Co., Ltd.

All rights reserved.

This document may not be altered without the written permission of Nissan Motor Co., Ltd.